

2026年度

公表用

学修成果、学修時間・学修行動に関するアンケートの結果について

本学の学部生全員を対象に現在の学修状況、学修時間、学修の成果などについておうかがいし、本学の教育成果を把握し、今後の改善に活用すること等を目的として、下記のとおり「学修成果、学修時間・学修行動に関するアンケート」を実施いたしました。

なお、アンケート冒頭の問1～5については、2年生および4年生を対象に、文部科学省「全国学生調査」の項目を設定しています。

<2026 年度「学修成果、学修時間・学修行動に関するアンケート」>

【実施時期】2026年7月9日(木)～7月31日(金)

【対象者】学部生全員

【本アンケートの回答率】

大学全体 45.4%(1,367名/3,010名)

情報表現学科 45.8%(506名/ 1,103名)

音楽表現学科 47.2%(104名/220名)

音楽応用学科 26.5%(64名/241名)

舞台表現学科 14.1%(14名/99名)

芸術表現学科 56.5%(117名/207名)

総合政策学科 85.1%(241名/283名)

スポーツマネジメント学科 37.4%(321名/857名)

<2025 年度「学修成果、学修時間・学修行動に関するアンケート」>

【実施時期】2025年7月8日(火)～8月29日(金)

【対象者】学部生全員

【本アンケートの回答率】

大学全体 49.0%(1,447名/2,952名)

情報表現学科 55.4%(591名/1,067名)

音楽表現学科 62.7%(175名/279名)

音楽応用学科 43.5%(145名/333名)

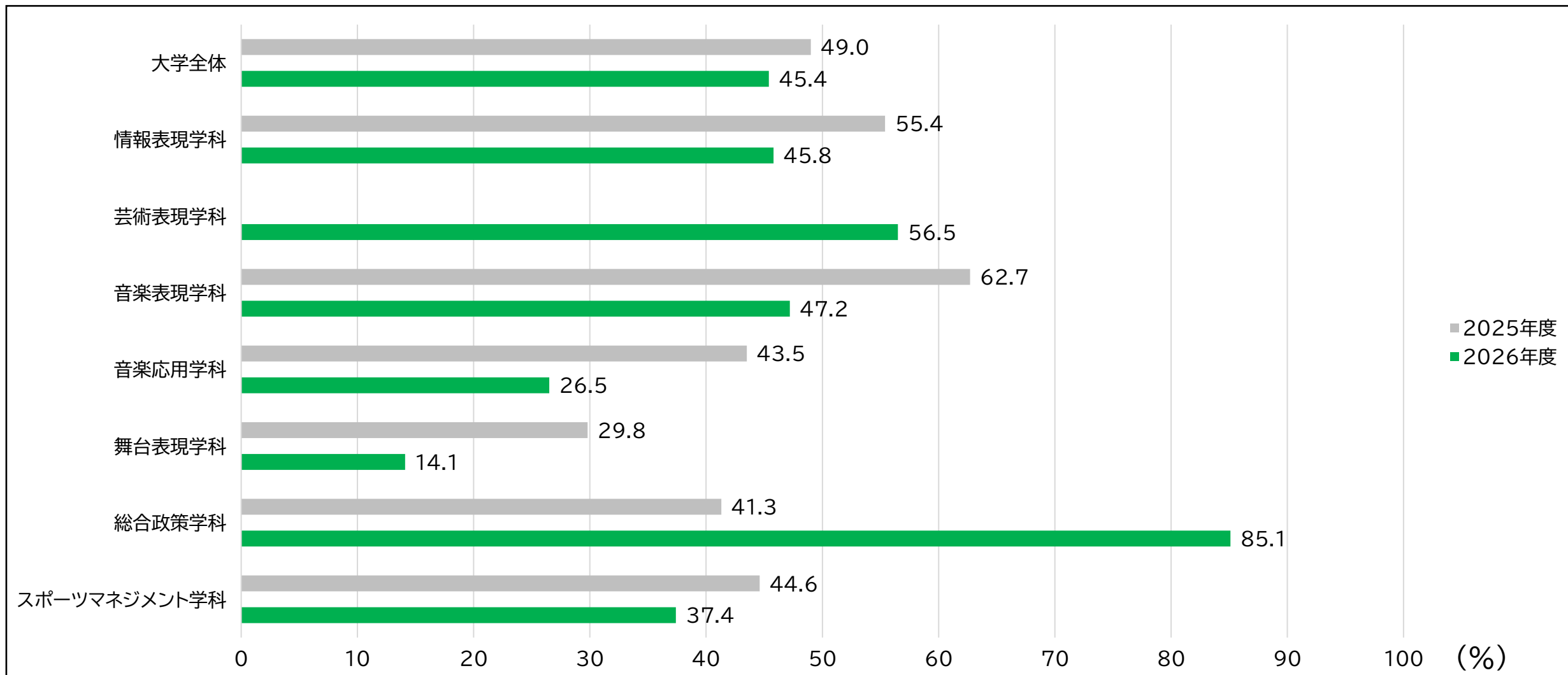
舞台表現学科 29.8%(42名/141名)

総合政策学科 41.3%(133名/322名)

スポーツマネジメント学科 44.6%(361名/810名)

【回答率】

【概要】全体の回答率は45.4%となり、2025年度と比較して3.6ポイント低下した。学科別では、「総合政策学科」が85.1%と最も高かった一方、「舞台表現学科」は14.1%と低く、学科間で回答率に大きな差が見られた。



2026年度「学修成果、学修時間・学修行動に関するアンケート」設問

- ・学籍番号を教えてください
- ・学年を教えてください

文部科学省が実施する「全国学生調査」(全国の大学を対象とした学生アンケート)の質問項目
＜2年生のみなさまへ＞

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

- 1-1 理解がしやすいように教え方が工夫されていた。
- 1-2 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。
- 1-3 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。
- 1-4 グループワークやディスカッションの機会がある。
- 1-5 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。
- 1-6 ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。

- 4:よくあった
- 3:ある程度あった
- 2:あまりなかった
- 1:なかった

問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。
経験していない場合は0を選択してください。

- 2-1 インターンシップ(5日間以上)
- 2-2 海外留学・海外研修(短期も含む)
- 2-3 主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)

- 4:有用だった
- 3:ある程度有用だった
- 2:あまり有用ではなかった
- 1:有用ではなかった
- 0:経験していない

問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれどのくらいですか。
(「5-2」については、お答えいただく必要がないため非表示になっています。)

- 5-1 授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)
- 5-3 予習・復習・課題など授業に関する学習(卒業論文等は除く)
- 5-4 授業と直接関係しない自主的な学習(学問に関係する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)
- 5-5 部活動／サークル活動
- 5-6 アルバイト／定職

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

- 3-1 専門分野に関する知識・理解
- 3-2 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観
- 3-3 文献・資料を収集・分析する力
- 3-4 論理的に文章を書く力
- 3-5 人に分かりやすく話す力
- 3-6 外国語を使う力
- 3-7 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
- 3-8 問題を見つけて解決方法を考える力
- 3-9 他者と協働する力
- 3-10 幅広い知識、ものの見方
- 3-11 異なる文化に関する知識・理解

- 1 身に付いていない
- 2 あまり身に付いていない
- 3 ある程度身に付いた
- 4 身に付いた

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

- 4-1 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。
- 4-2 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。
- 4-3 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。
- 4-4 大学の学びによって成長を実感している。

- 4:そう思う
- 3:ある程度そう思う
- 2:あまりそうは思わない
- 1:そうは思わない

- 1 0時間
- 2 1-5時間
- 3 6－10時間
- 4 11-15時間
- 5 16-20時間
- 6 21-30時間
- 7 31時間以上

文部科学省が実施する「全国学生調査」(全国の大学を対象とした学生アンケート)の質問項目

<4年生のみなさまへ>

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

- 1-1 理解がしやすいように教え方が工夫されていた。
- 1-2 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。
- 1-3 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。
- 1-4 グループワークやディスカッションの機会がある。
- 1-5 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。
- 1-6 ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。

- 4:よくあった
- 3:ある程度あった
- 2:あまりなかった
- 1:なかった

問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。
経験していない場合は0を選択してください。

- 2-1 インターンシップ(5日間以上)
- 2-2 海外留学・海外研修(短期も含む)
- 2-3 主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)

- 4:有用だった
- 3:ある程度有用だった
- 2:あまり有用ではなかった
- 1:有用ではなかった
- 0:経験していない

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

- 3-1 専門分野に関する知識・理解
- 3-2 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観
- 3-3 文献・資料を収集・分析する力
- 3-4 論理的に文章を書く力
- 3-5 人に分かりやすく話す力
- 3-6 外国語を使う力
- 3-7 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
- 3-8 問題を見つけて解決方法を考える力
- 3-9 他者と協働する力
- 3-10 幅広い知識、ものの見方
- 3-11 異なる文化に関する知識・理解

- 1 身に付いていない
- 2 あまり身に付いていない
- 3 ある程度身に付いた
- 4 身に付いた

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

- 4-1 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。
- 4-2 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。
- 4-3 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。
- 4-4 大学の学びによって成長を実感している。

- 4:そう思う
- 3:ある程度そう思う
- 2:あまりそうは思わない
- 1:そうは思わない

問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

- 5-1 授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)
- 5-2 卒業論文・卒業研究・卒業制作
- 5-3 予習・復習・課題など授業に関する学習(卒業論文等は除く)
- 5-4 授業と直接関係しない自主的な学習(学問に関係する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)
- 5-5 部活動／サークル活動
- 5-6 アルバイト／定職

- 1 0時間
- 2 1-5時間
- 3 6－10時間
- 4 11-15時間
- 5 16-20時間
- 6 21-30時間
- 7 31時間以上

・あなたの所属学科を教えてください。

Q1. 現時点で、履修した授業科目を通じて、以下の能力をどの程度身に付けることができましたか。
各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。

<情報表現学科のみなさまへ>

鋭い観察力により、物事の本質を見抜く力(本質を見抜く力)
既成概念にとらわれず、新たなアイディアや価値を生み出す力(発想力・創造力)
発想力・創造力により生み出したアイディアをカタチにする力(設計・構築力)
複雑な事柄について筋道を立てて思考することができる力(論理的思考力)
多様な情報があふれる現代社会において、必要な情報を取捨選択して収集し、分析する能力(情報収集・分析能力)
独創的な表現力により、他者の心に働きかけることができる力(自己表現能力・発信力)

<芸術表現学科・旧3学科のみなさまへ>

鋭い観察力により、物事の本質を見抜く力(本質を見抜く力)
既成概念にとらわれず、新たなアイディアや価値を生み出す力(発想力・創造力)
発想力・創造力により生み出したアイディアをカタチにする力(設計・構築力)
複雑な事柄について筋道を立てて思考することができる力(論理的思考力)
芸術、情報、ビジネスの学びを通じて自らの強みを発見・自覚するとともに、自分のキャリア意識を形成し、それを実現する力(自己理解・自己実現力)
芸術表現を深く探求し専門性を高め、自分だけの独創的な表現行為により、他者の心に働きかけ感動を与える力(独創的な芸術表現力)

<総合政策学科のみなさまへ>

俯瞰的な視野で社会を見渡し課題を発見・解決できる能力(課題発見・解決能力)
複雑な事柄について筋道を立てて思考することができる力(論理的思考力)
多様な情報があふれる現代社会において、必要な情報を取捨選択して収集し分析する能力(情報収集・分析能力)
キャリア関連科目の学びを通じて自らの強みを発見・自覚するとともにキャリア意識を形成し、それを実現する力(自己理解・自己実現力)

<スポーツマネジメント学科>

自らの強みを発見・自覚するとともに、キャリア意識を形成して、それを実現する力(自己理解・自己実現力)
チームを主導するとともに意見の対立等を調整し、チームで物事を前に進める力(リーダーシップ・調整力)
多様な情報があふれる現代社会において、必要な情報を取捨選択して収集し、分析する能力(情報収集・分析能力)
俯瞰的な視野で社会を見渡し、課題を発見できる能力(課題発見能力)
発見した課題を解決する能力(課題解決能力)

1. とてもよく身についている
2. どちらかといえば身についている
3. どちらかといえば身についていない
4. まったく身についていない

Q2. あなたが卒業するまでに以下の能力を身につける必要性について、どのように考えますか。各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。

<情報表現学科のみなさまへ>

鋭い観察力により、物事の本質を見抜く力(本質を見抜く力)
既成概念にとらわれず、新たなアイディアや価値を生み出す力(発想力・創造力)
発想力・創造力により生み出したアイディアをカタチにする力(設計・構築力)
複雑な事柄について筋道を立てて思考することができる力(論理的思考力)
多様な情報があふれる現代社会において、必要な情報を取捨選択して収集し、分析する能力(情報収集・分析能力)
独創的な表現力により、他者の心に働きかけることができる力(自己表現能力・発信力)

<芸術表現学科・旧3学科のみなさまへ>

鋭い観察力により、物事の本質を見抜く力(本質を見抜く力)
既成概念にとらわれず、新たなアイディアや価値を生み出す力(発想力・創造力)
発想力・創造力により生み出したアイディアをカタチにする力(設計・構築力)
複雑な事柄について筋道を立てて思考することができる力(論理的思考力)
芸術、情報、ビジネスの学びを通じて自らの強みを発見・自覚するとともに、自分のキャリア意識を形成し、それを実現する力(自己理解・自己実現力)
芸術表現の深く探求し専門性を高め、自分だけの独創的な表現行為により、他者の心に働きかけ感動を与える力(独創的な芸術表現力)

<総合政策学科のみなさまへ>

俯瞰的な視野で社会を見渡し課題を発見・解決できる能力(課題発見・解決能力)
複雑な事柄について筋道を立てて思考することができる力(論理的思考力)
多様な情報があふれる現代社会において、必要な情報を取捨選択して収集し分析する能力(情報収集・分析能力)
キャリア関連科目の学びを通じて自らの強みを発見・自覚するとともにキャリア意識を形成し、それを実現する力(自己理解・自己実現力)

<スポーツマネジメント学科>

自らの強みを発見・自覚するとともに、キャリア意識を形成して、それを実現する力(自己理解・自己実現力)
チームを主導するとともに意見の対立等を調整し、チームで物事を前に進める力(リーダーシップ・調整力)
多様な情報があふれる現代社会において、必要な情報を取捨選択して収集し、分析する能力(情報収集・分析能力)
俯瞰的な視野で社会を見渡し、課題を発見できる能力(課題発見能力)
発見した課題を解決する能力(課題解決能力)

1. とても必要である
2. どちらかといえば必要である
3. どちらかといえば必要ではない
4. まったく必要ではない

Q3. 現時点で、履修した授業科目や課外活動を通じて、以下の能力をどの程度身につけることができるしたか。各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。

所属学科における専門知識・技能の修得
所属学科における専門知識・技能を実社会において応用し、実践することができる力
所属学科における専門知識・技能を組み合わせる統合し、新たな視点で物事を考える力
文章を正確に読み解く力(文章読解力)
文章でわかりやすく正確に表現する力(文章表現力)
協調性を持ってグループで活動できる力(協調性・協働する力)
社会で求められる基礎的なITスキルの修得(基礎的ITスキル)
自分の考え等について、適切な方法によりわかりやすく簡潔に他者に伝える力(プレゼンテーション能力)

異文化に対する理解力や外国語能力の修得(異文化理解力・外国語能力)
他者の立場に立って物事を考え行動できる力(共感力・相互理解力)
自らを律し、責任感を持って行動する力(規律性・倫理観)
生涯を通じて学び続け、自己研鑽に励むことができる力(自己研鑽力(学び続ける力))

1. とてもよく身につけている
2. どちらかといえば身につけている
3. どちらかといえば身につけていない
4. まったく身につけていない

Q4. あなたが卒業するまでに以下の能力を身につける必要性について、どのように考えますか。各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。

所属学科における専門知識・技能の修得
所属学科における専門知識・技能を実社会において応用し、実践することができる力
所属学科における専門知識・技能を組み合わせる統合し、新たな視点で物事を考える力
文章を正確に読み解く力(文章読解力)
文章でわかりやすく正確に表現する力(文章表現力)
協調性を持ってグループで活動できる力(協調性・協働する力)
社会で求められる基礎的なITスキルの修得(基礎的ITスキル)
自分の考え等について、適切な方法によりわかりやすく簡潔に他者に伝える力(プレゼンテーション能力)

異文化に対する理解力や外国語能力の修得(異文化理解力・外国語能力)
他者の立場に立って物事を考え行動できる力(共感力・相互理解力)
自らを律し、責任感を持って行動する力(規律性・倫理観)
生涯を通じて学び続け、自己研鑽に励むことができる力(自己研鑽力(学び続ける力))

1. とても必要である
2. どちらかといえば必要である
3. どちらかといえば必要ではない
4. まったく必要ではない

Q5. 現在のあなたの学修状況についておうかがいします。各項目について1～4で回答してください。

わからないことを放置することなく、すぐに教員に質問するなどの対応をした
興味を持ったことについて自主的に調べた
グループワークやディスカッションに積極的に参加した
発表やプレゼンテーションを積極的に行った
授業を毎回出席し教員の話をしっかり聴いていた
授業の課題等はきちんとやった
期末試験等の前は計画的に準備をした
サークル活動に積極的に参加した
アルバイトを頑張った

1. とてもよくあてはまる
2. どちらかといえばあてはまる
3. どちらかといえばあてはまらない
4. まったくあてはまらない

Q6-1. 現時点で、本学への入学を後輩や知人等に勧めたいと思いますか。
もっともあてはまるものを選んでください。

- 1 強く思う
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらかといえば思わない
- 4 まったく思わない

Q6-2.Q6-1で「強く思う」「どちらかといえば思う」と回答した方におうかがいします。
その理由としてもっとも当てはまるものを選んでください。

- 施設・設備の充実度
- 教育内容の充実度や教育の質の高さ
- 教員の学生支援や面倒見の良さ
- 職員の学生支援や面倒見の良さ
- 在学中における成長機会の豊富さ
- 卒業後のキャリアに役立つ授業科目の充実
- 就職支援体制の充実度
- 友人関係の充実度
- サークル活動の充実度
- その他(自由記述)

Q6-3.Q6-1で「どちらかといえば思わない」「まったく思わない」と回答した方におうかがいします。その理由としてもっとも当てはまるものを選んでください。

- 施設・設備の状況
- 教育内容や教育の質
- 教員の学修支援体制の質・内容
- 職員の学生支援体制の質・内容
- 在学中における成長機会(の少なさ)
- 卒業後のキャリアに役立つ授業科目の質・内容
- 就職支援体制の質・内容
- 友人関係
- サークル活動
- その他(自由記述)

Q8-2.Q8-1で「1 明確な目的意識を持っている」「2 どちらかというとも明確な目的意識を持っている」と回答した方にお尋ねします。現時点で希望している卒業後に就きたい職種を選んでください。

<満足度について>
Q7.本学についてのあなたの満足度を教えてください。それぞれの項目についてもっとも当てはまるものを選んでください。

- 専門性の高い教育内容
- 幅広くさまざまな分野を学べるカリキュラム
- 基礎からゆっくり学べるカリキュラム
- 教職員の面倒見の良さ
- 部活動(サークル活動)の充実
- 在学中における成長の機会
- キャンパスの外に出た学修の機会(インターンシップ、地域のイベントへの参加など)
- 授業で使用する施設・設備の状況(教室、スタジオ、練習室、体育館、各種機材など)
- 授業外の施設・設備の状況(食堂、売店、図書館、トイレなど)
- 卒業後のキャリアに役立つ授業科目の充実
- キャリアセンターにおける就職支援の充実

- 1. とても満足している
- 2. やや満足している
- 3. やや満足していない
- 4. まったく満足していない

<キャリア・就職に関する意識について>
Q8-1.現時点で、卒業後の進路についてどの程度考えていますか。

- 1 明確な目的意識を持っている
- 2 どちらかというとも明確な目的意識は持っている
- 3 どちらかというとも明確な目的意識は持っていない
- 4 明確な目的意識は持っていない

- | | | |
|----------|---------------|-------------|
| 音楽・芸能 | 情報・通信 | 商社・卸売業 |
| 楽器・音楽教室 | 金融 | 小売 |
| 映像・音響・舞台 | メーカー | スポーツ |
| アニメ・CG | サービス | 医療・福祉 |
| ゲーム | アパレル・ファッション関連 | 冠婚葬祭 |
| マスコミ・広告 | レジャー・ホテル | 公務員・団体・教育機関 |
| | | その他(自由記述) |



集計結果 「文部科学省 全国学生調査 設問」

「文部科学省 全国学生調査 設問」

(令和6年度「文部科学省 全国学生調査」比較)

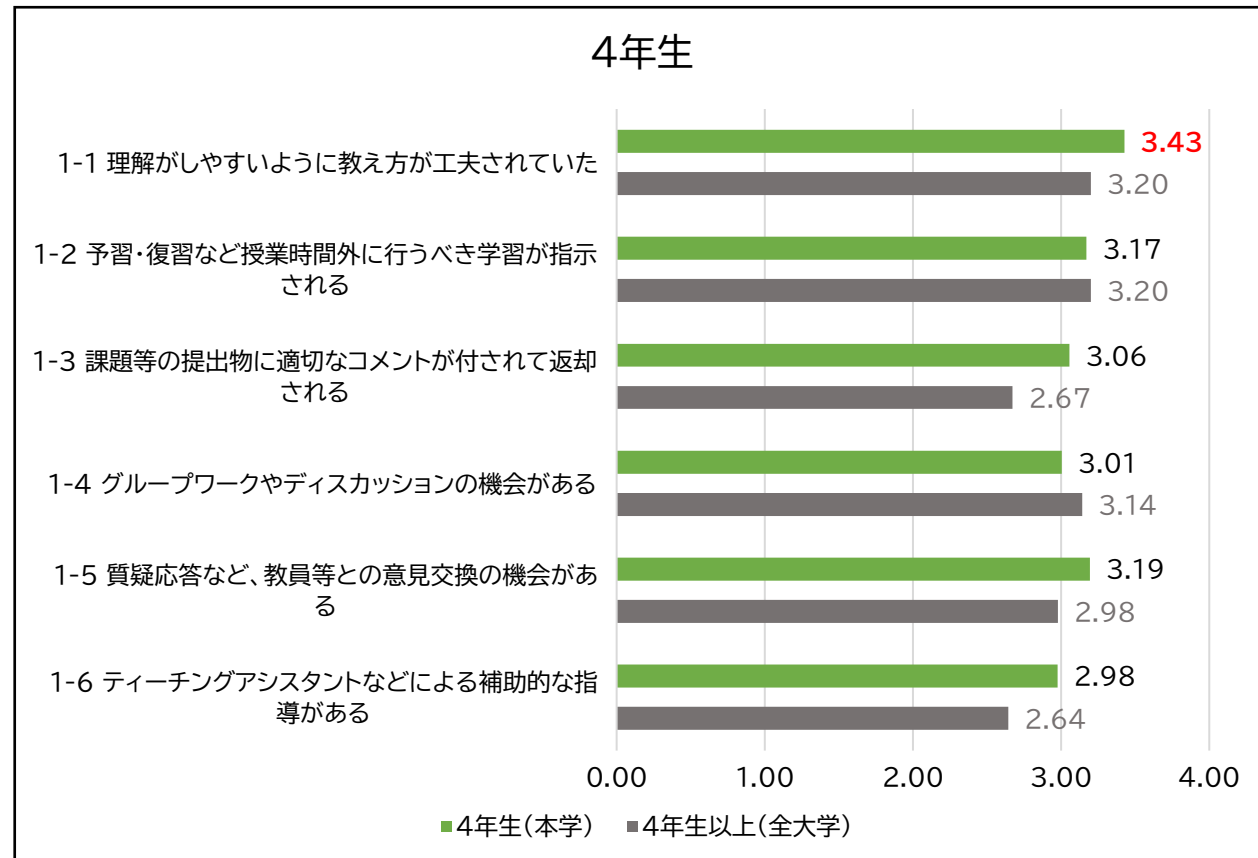
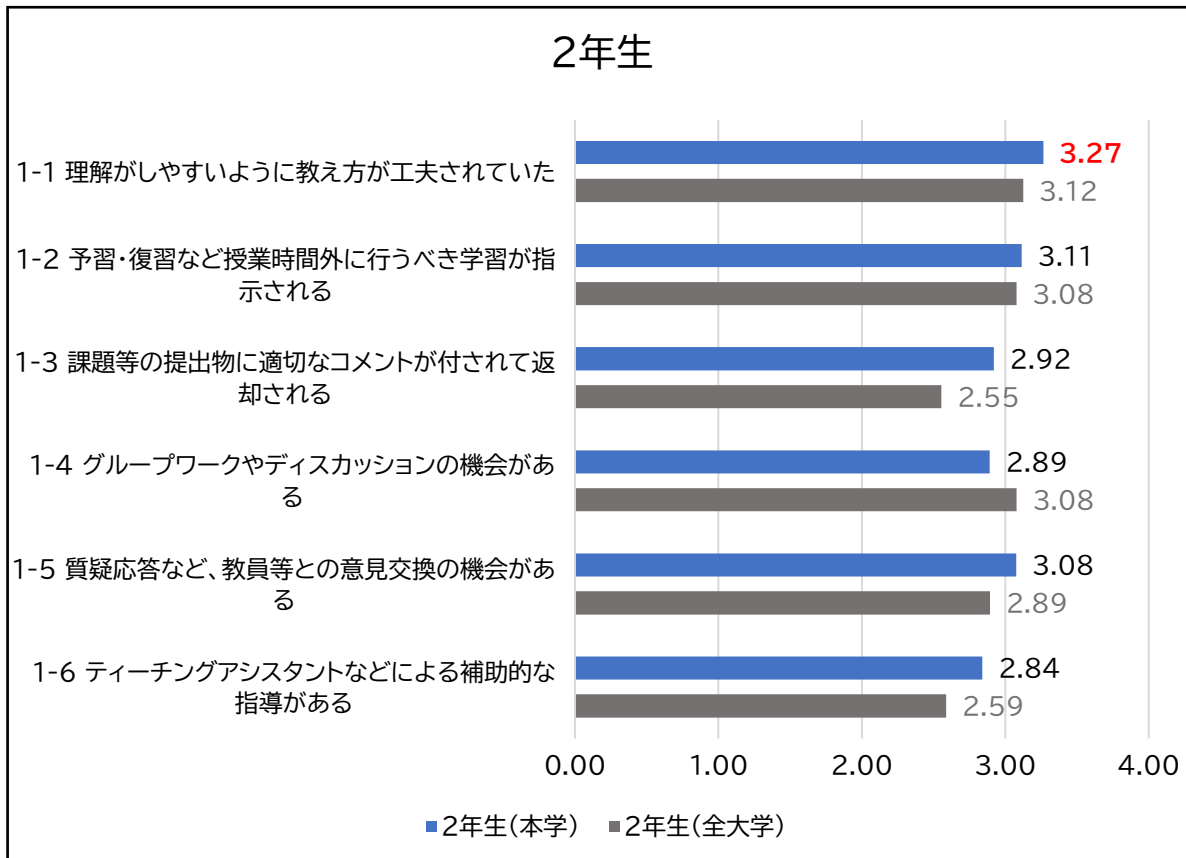
〈各項目の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、
回答数で除して、平均値を算出した。

1点:なかった
2点:あまりなかった
3点:ある程度あった
4点:よくあった

【概要】入学後に受けた授業について、2年生・4年生ともに「理解がしやすいよう教え方が工夫されていた」の平均値がもっとも高く、2年生は3.27、4年生は3.43となった。次いで、2年生では「予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される」が3.11、4年生では「質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある」が3.19となった。文部科学省「令和6年度全国学生調査」の結果と比較すると、2年生では「グループワークやディスカッションの機会がある」を除く5項目で、4年生では「予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される」と「グループワークやディスカッションの機会がある」を除く4項目で、本学の平均値が全大学を上回った。

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。



「文部科学省 全国学生調査 設問」

(令和6年度「文部科学省 全国学生調査」比較)

【概要】在学中の経験について、2年生では「主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)」が1.35と平均値がもっとも高く、4年生では「インターンシップ(5日間以上)」が1.74ともっとも高かったものの、各項目を通じて比較的低い平均値にとどまった。文部科学省「令和6年度全国学生調査」の結果と比較すると、本学は2年生・4年生ともに「インターンシップ(5日間以上)」の平均値は全大学の平均値を上回った。

〈各項目の平均値を算出〉

回答状況を0点から4点までに点数化し、回答数で除して、平均値を算出した。

0点:経験していない

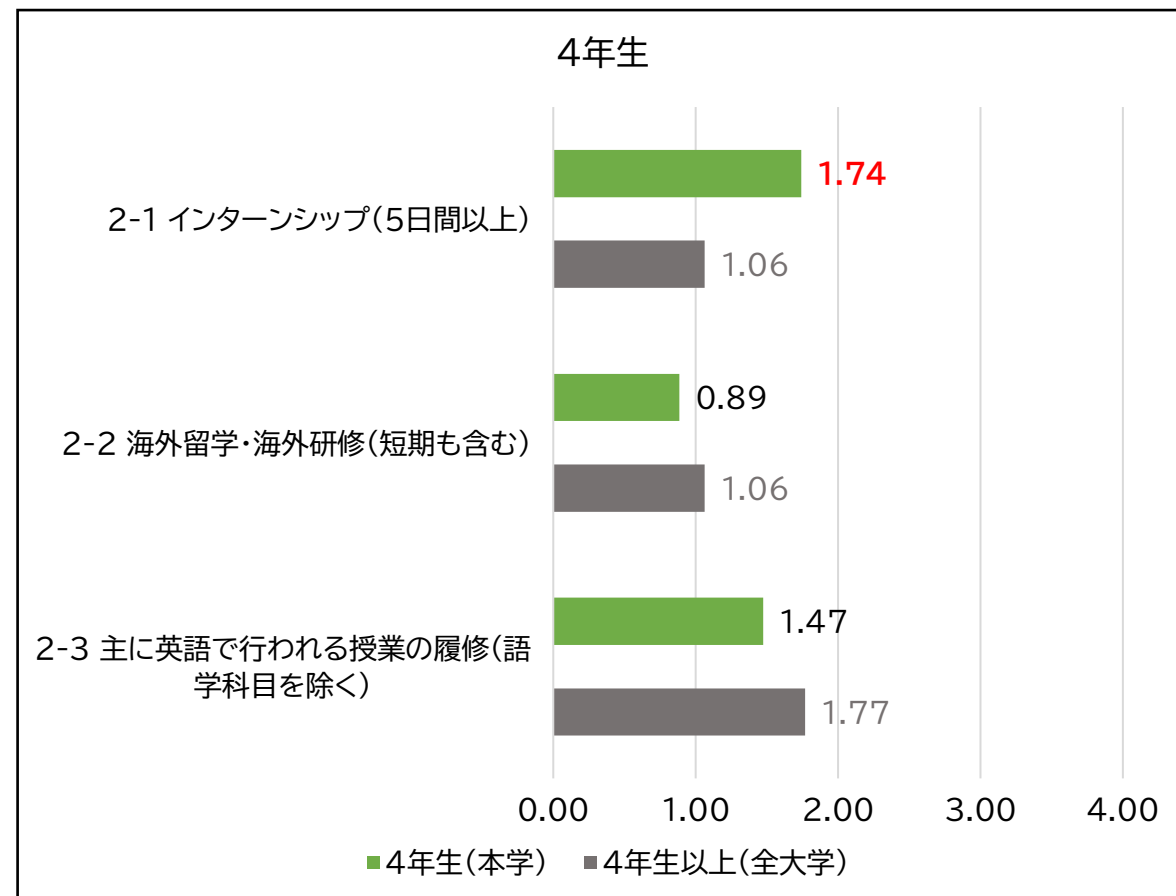
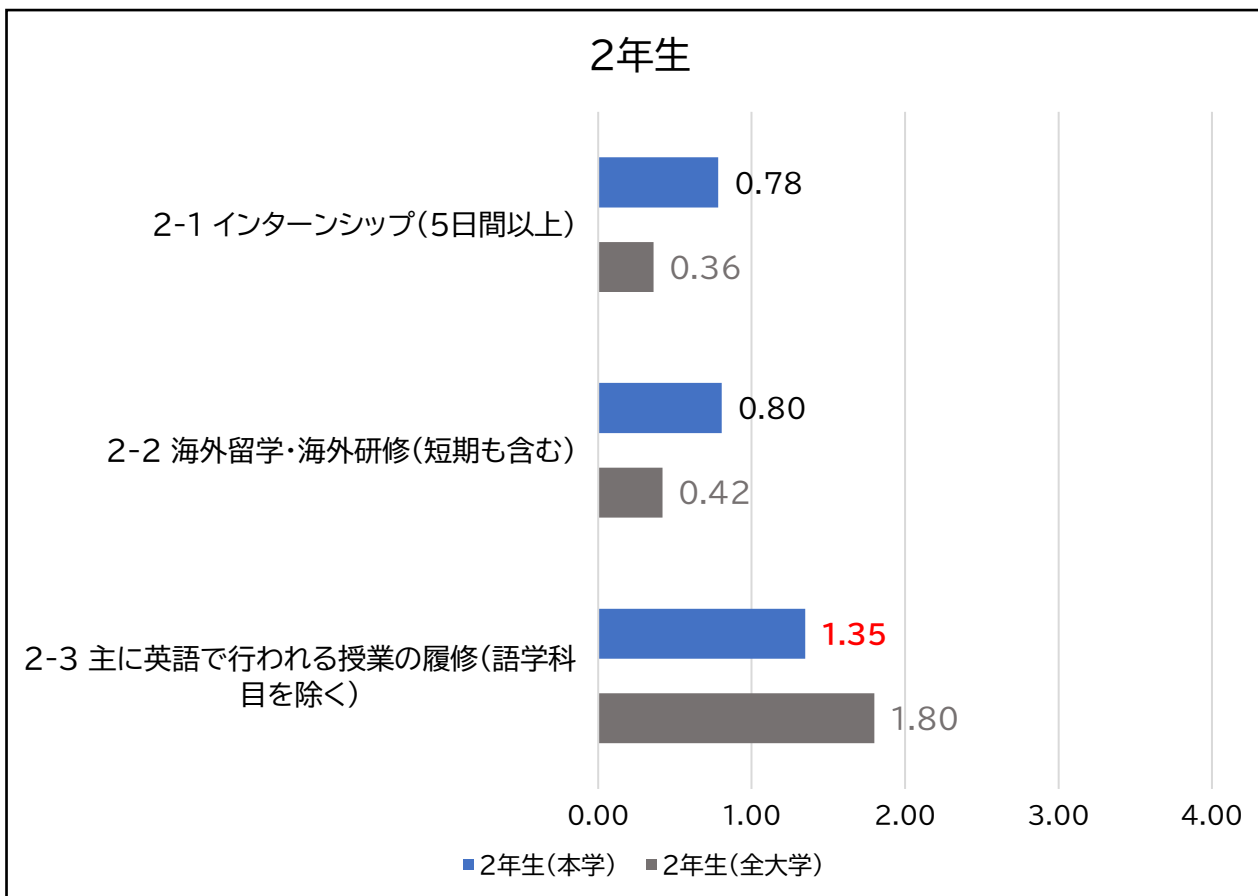
1点:有用ではなかった

2点:あまり有用ではなかった

3点:ある程度有用だった

4点:有用だった

問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は0を選択してください。



「文部科学省 全国学生調査 設問」

(令和6年度「文部科学省 全国学生調査」比較)

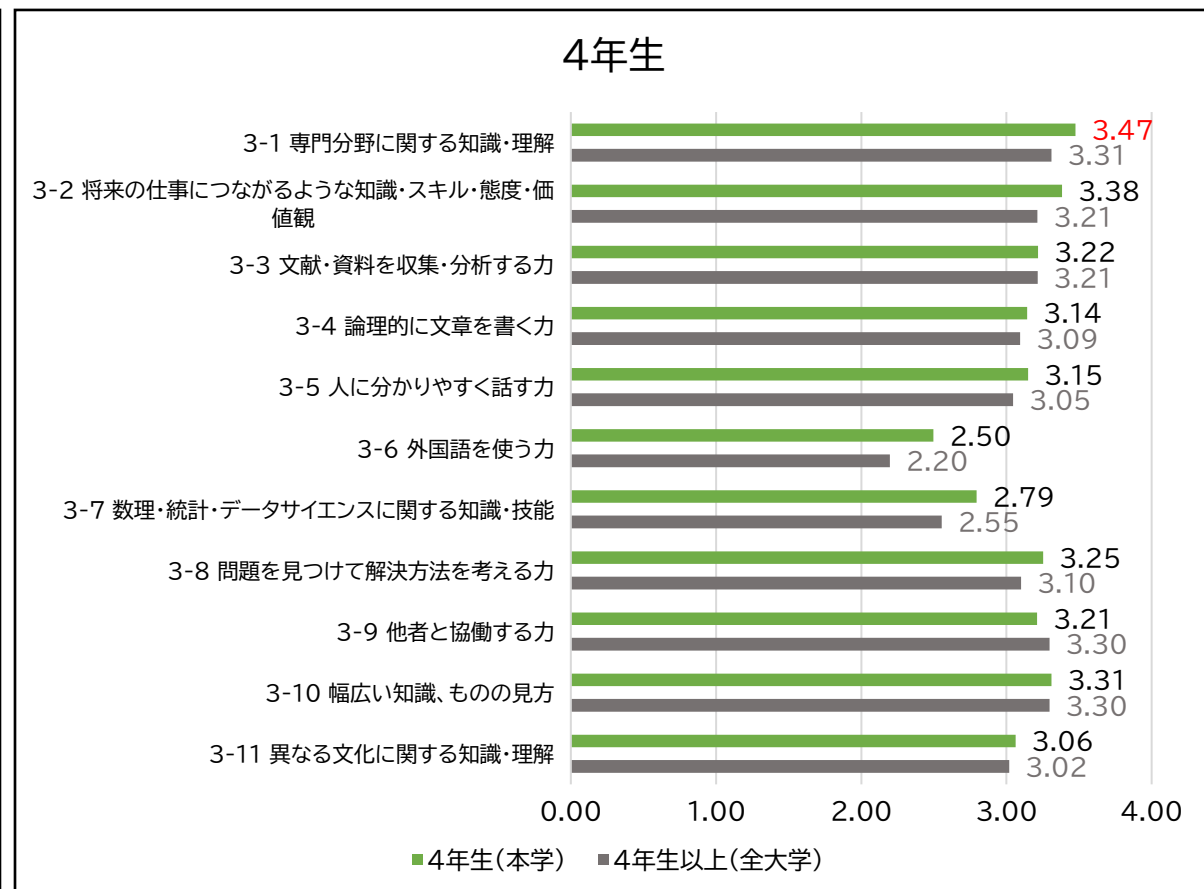
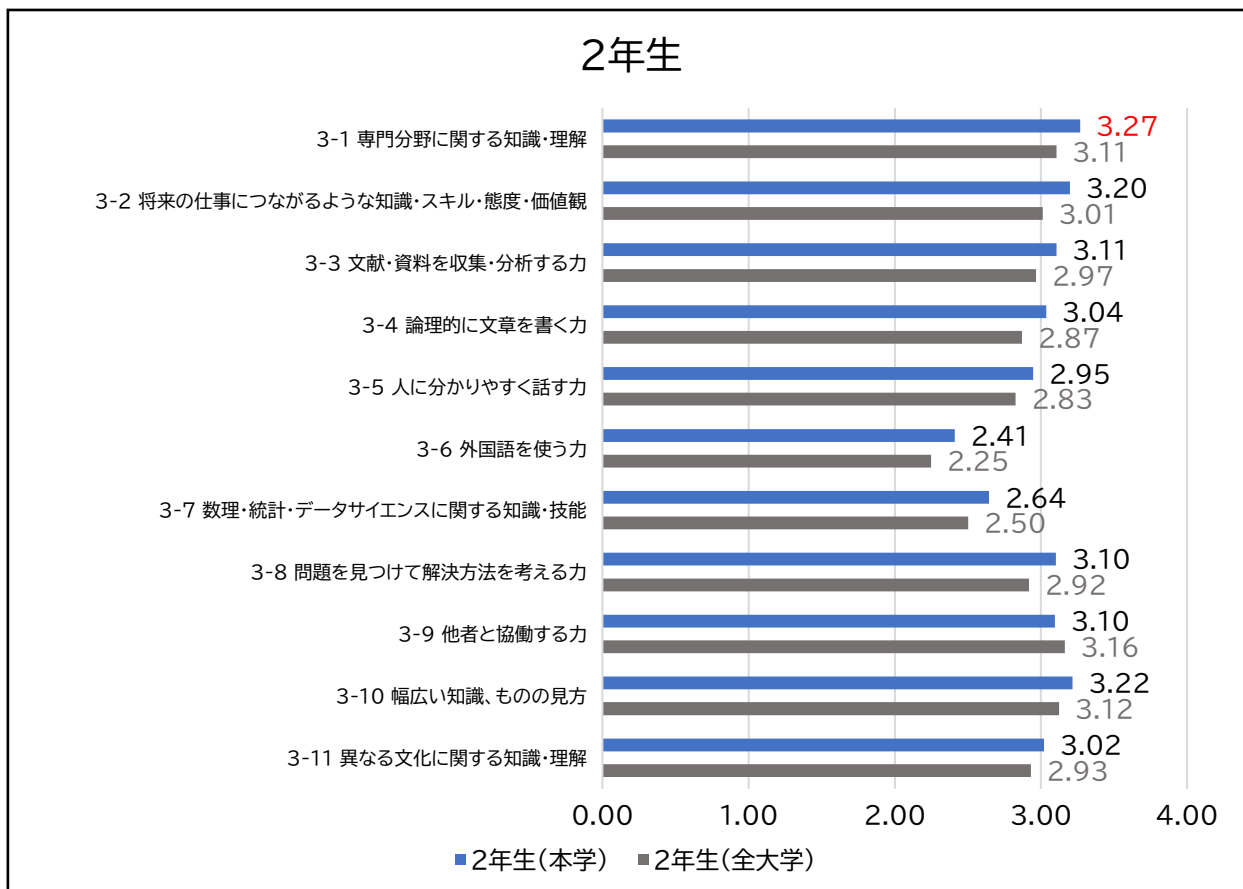
【概要】大学での授業を通じて身についた知識や能力について、2年生・4年生ともに「専門分野に関する知識・理解」の平均値がもっとも高く、2年生は3.27、4年生は3.47となった。文部科学省「令和6年度全国学生調査」の結果と比較すると、2年生・4年生ともに「他者と協働する力」を除く10項目で、本学の平均値が全大学の平均値を上回った。

〈各項目の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、
回答数で除して、平均値を算出した。

1点:身に付いていない
2点:あまり身に付いていない
3点:ある程度身に付いた
4点:身に付いた

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。



「文部科学省 全国学生調査 設問」

(令和6年度「文部科学省 全国学生調査」比較)

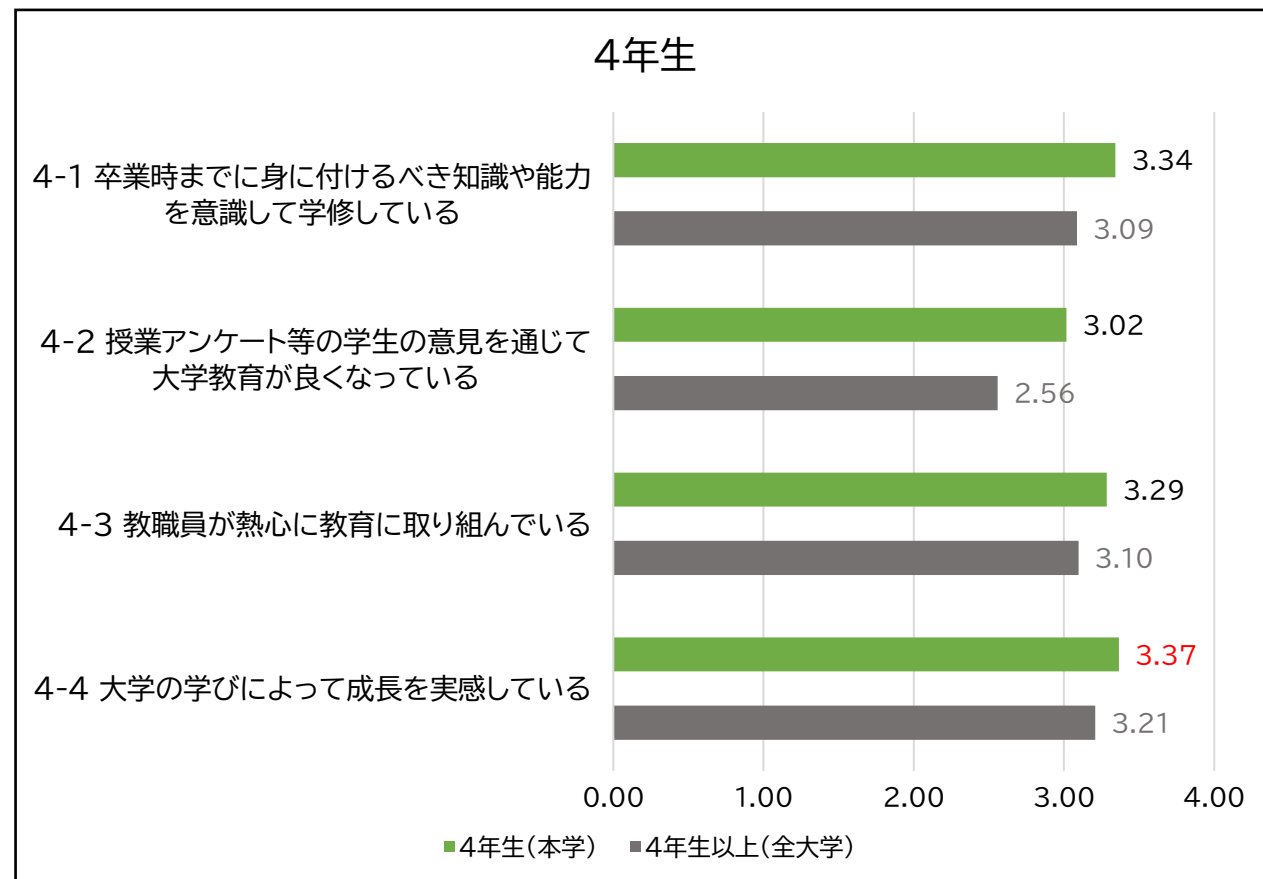
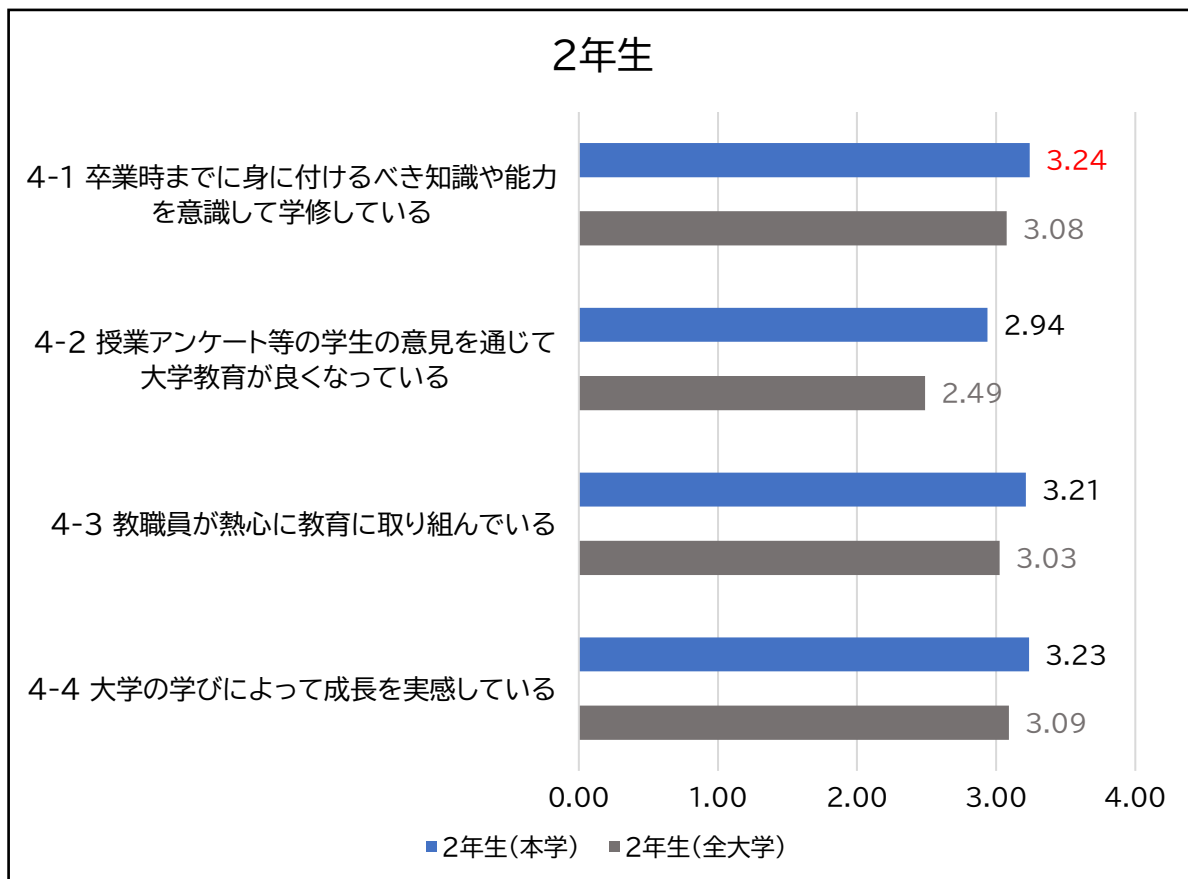
【概要】大学の学びについて「令和6年度全国学生調査」の結果と比較すると、2年生では「卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している」の平均値が3.24と最も高く、全大学の3.08を上回った。4年生では「大学の学びによって成長を実感している」の平均値が3.37と最も高く、全大学の3.21を上回った。また、2年生・4年生ともに、すべての項目で本学の平均値が全大学を上回った。

〈各項目の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、
回答数で除して、平均値を算出した。

1点:そうは思わない
2点:あまりそうは思わない
3点:ある程度そう思う
4点:そう思う

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。



「文部科学省 全国学生調査 設問」

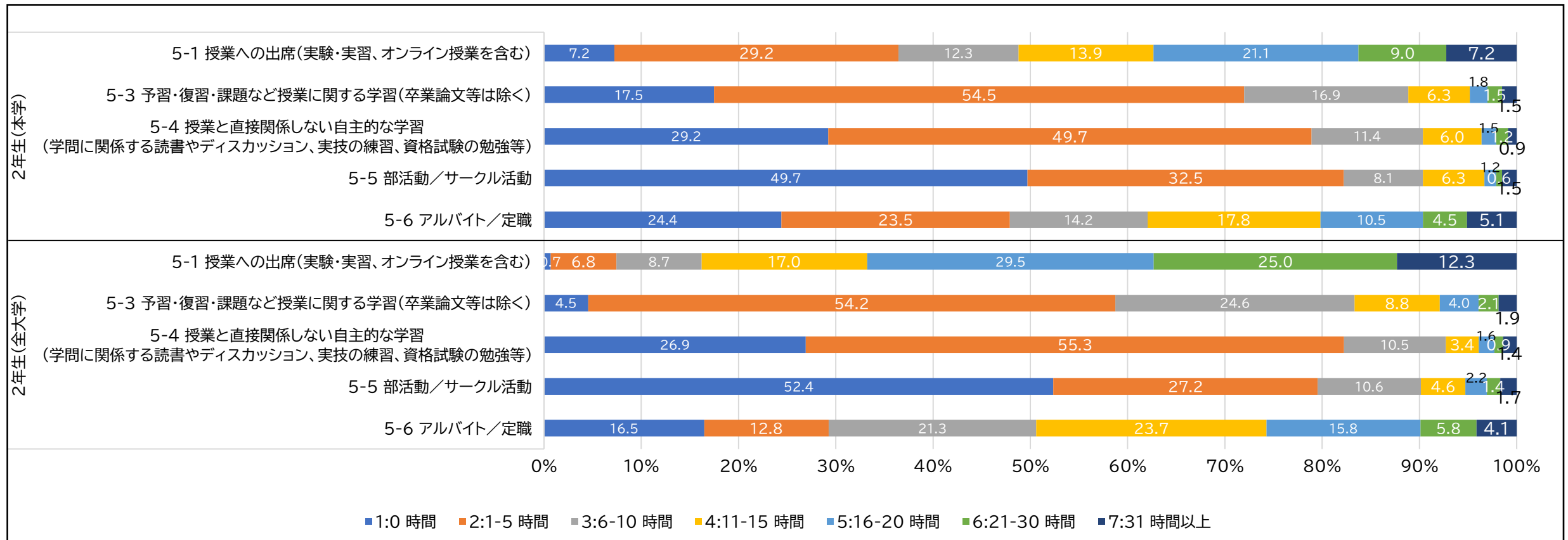
【2年生】

(令和6年度「文部科学省 全国学生調査」比較)

【概要】今学期における平均的な1週間の生活時間について、文部科学省「令和6年度全国学生調査」の大学2年生(全大学)の結果と比較すると、「5-1 授業への出席」については、本学では「16-20時間」以上の学生が37.3%であり、全大学の66.8%を大きく下回っている。一方、「5-3 予習・復習・課題など授業に関する学習」については、本学では「1-5時間」が54.5%と最も多く、1週間あたりの学習時間が「6時間未満」の学生は72.0%となっており、全大学の58.7%と比較して高い割合となっている。

また、「5-5 部活動／サークル活動」については、本学では「0時間」が49.7%と最も多く、全大学の52.4%とほぼ同程度となった。

問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれどのくらいですか。(「5-2」については、4年生のみ回答。)



「文部科学省 全国学生調査 設問」

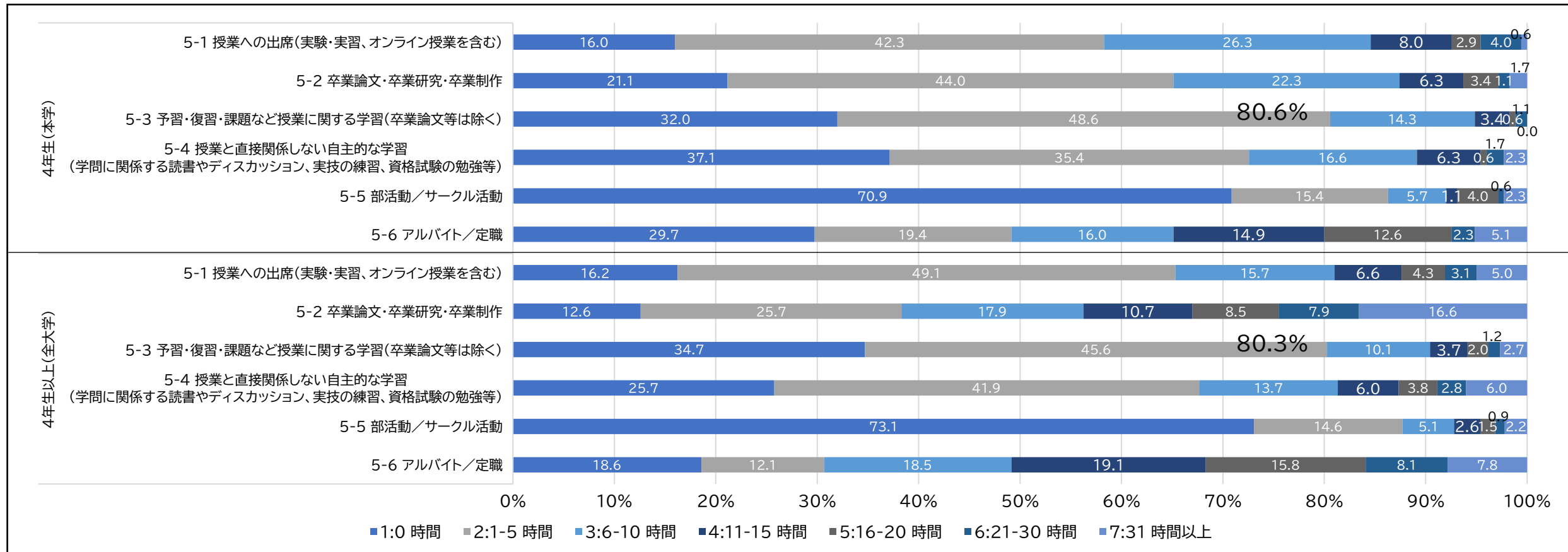
【4年生】

(令和6年度「文部科学省 全国学生調査」比較)

【概要】平均的な一週間の生活時間について、文部科学省「令和6年度全国学生調査」の大学4年生以上(全大学)の結果と比較すると、「5-1 授業への出席」については、本学では「16-20時間」以上の学生が7.5%であり、全大学の12.4%を下回っている。一方、「5-3 予習・復習・課題など授業に関する学習」については、本学では「1-5時間」が48.6%と最も多く、1週間あたりの学習時間が6時間未満の学生は80.6%となっており、全大学の80.3%とほぼ同程度となっている。

また、「5-5 部活動／サークル活動」については、本学では「0時間」が70.9%と最も多く、全大学の73.1%とほぼ同程度となった。

問5 今年度後期の授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間は、それぞれのくらいですか。(「5-2」については、4年生のみ回答。)

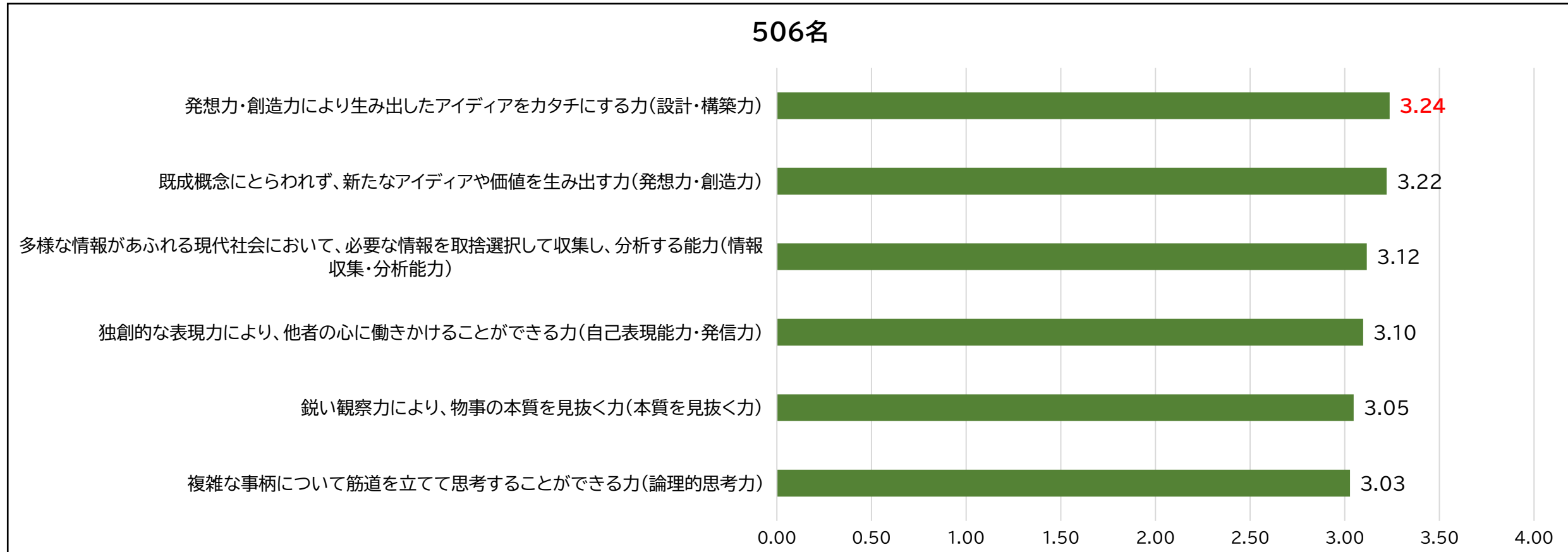




大学全体集計結果

【概要】身につけることができた能力として、「設計・構築力」が3.24と最も平均が高く、次いで「発想力・創造力」が3.22、「情報収集・分析能力」が3.12となった。

Q1. 現時点で、履修した授業科目を通じて、以下の能力をどの程度身に付けることができましたか。
各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。



<[DP1]身について能力について>

〈各項目の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、
回答数で除して、平均値を算出した。

1点:まったく身についていない
2点:どちらかといえば身についていない
3点:どちらかといえば身についている
4点:とてもよく身についている

【概要】身につけることができた能力として、「独創的な芸術表現力」が3.30と最も平均が高く、次いで「設計・構築力」が3.26、「発想力・創造力」が3.21となった。

Q1. 現時点で、履修した授業科目を通じて、以下の能力をどの程度身に付けることができましたか。
各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。

芸術表現学科(117名) / 音楽表現学科(104名)音楽応用学科(64名)舞台表現学科(14名) 計299名

芸術表現を深く探求し専門性を高め、自分だけの独創的な表現行為により、他者の心に働きかけ
感動を与える力(独創的な芸術表現力)

3.30

発想力・創造力により生み出したアイデアをカタチにする力(設計・構築力)

3.26

既成概念にとらわれず、新たなアイデアや価値を生み出す力(発想力・創造力)

3.21

学びを通じて自らの強みを発見・自覚するとともに、自分のキャリア意識を形成し、それを実現する力(自己理解・自己実現力)

3.14

鋭い観察力により、物事の本質を見抜く力(本質を見抜く力)

3.12

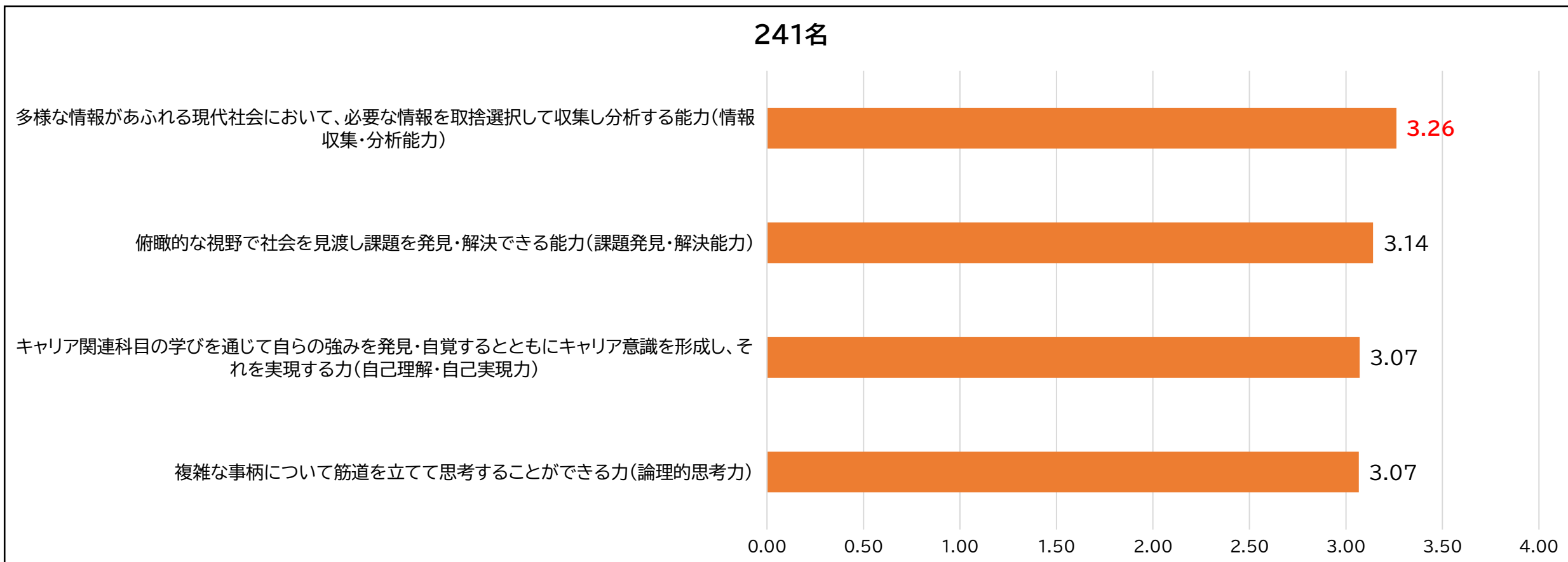
複雑な事柄について筋道を立てて思考することができる力(論理的思考力)

3.08

0.00 0.50 1.00 1.50 2.00 2.50 3.00 3.50 4.00

【概要】身につけることができた能力として、「情報収集・分析能力」が3.26と最も平均が高く、次いで「課題発見・解決能力」が3.14となった。

Q1. 現時点で、履修した授業科目を通じて、以下の能力をどの程度身に付けることができましたか。
各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。



<[DP1]身についた能力について>

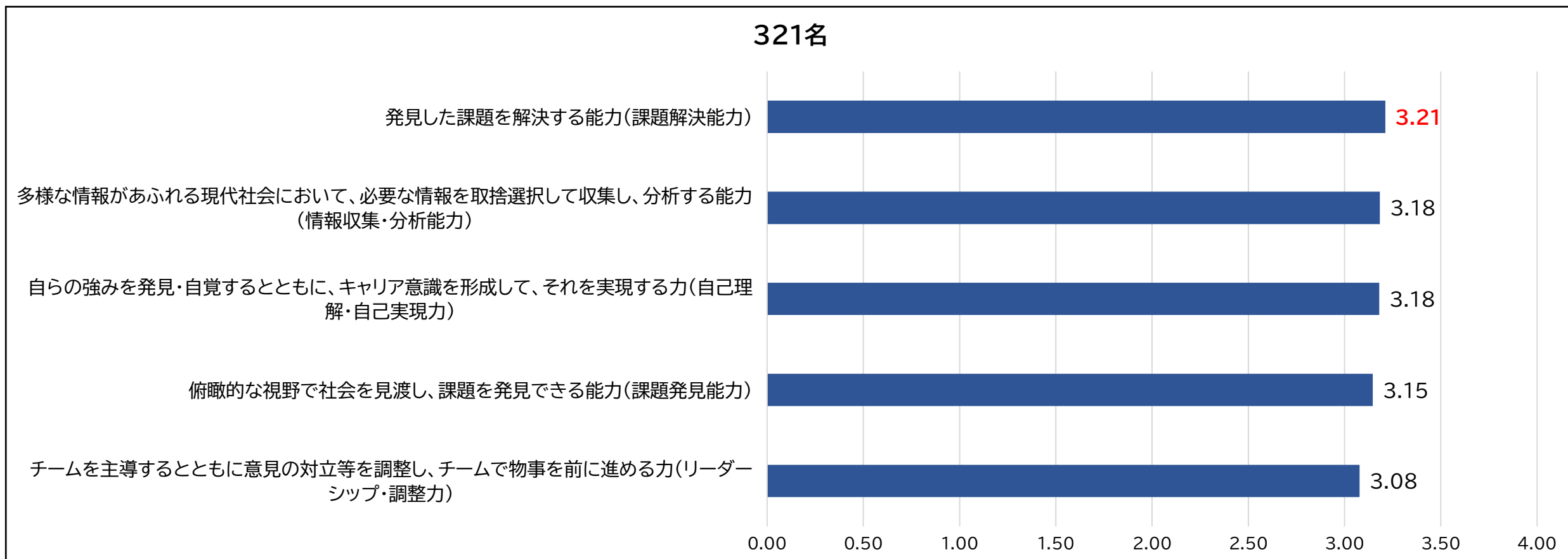
〈各項目の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、
回答数で除して、平均値を算出した。

1点:まったく身についていない
2点:どちらかといえば身についていない
3点:どちらかといえば身についている
4点:とてもよく身についている

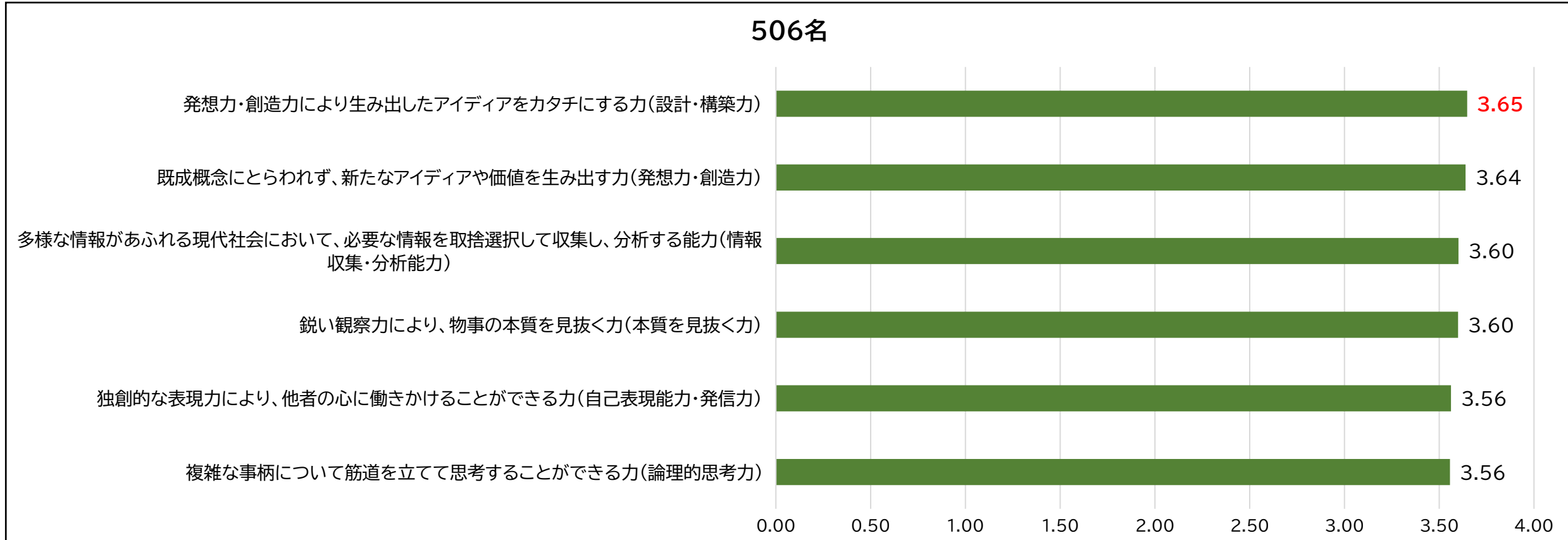
【概要】身につけることができた能力として、「課題解決能力」が3.21と最も平均が高く、次いで「情報収集・分析能力」「自己理解・自己実現力」が3.18となった。

Q1. 現時点で、履修した授業科目を通じて、以下の能力をどの程度身に付けることができましたか。
各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。



【概要】身につける必要性として、「設計・構築力」が3.65と最も平均が高く、次いで「発想力・創造力」が3.64、「情報収集・分析能力」「本質を見抜く力」が3.60となった。DP1についてどの能力も平均値が3.5以上となっていることから、各能力の身につける必要性について一定程度認識されていることが分かる。

Q2. あなたが卒業するまでに以下の能力を身につける必要性について、どのように考えますか。
各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。



< [DP1]身につける必要性について >

〈各項目の平均値を算出〉

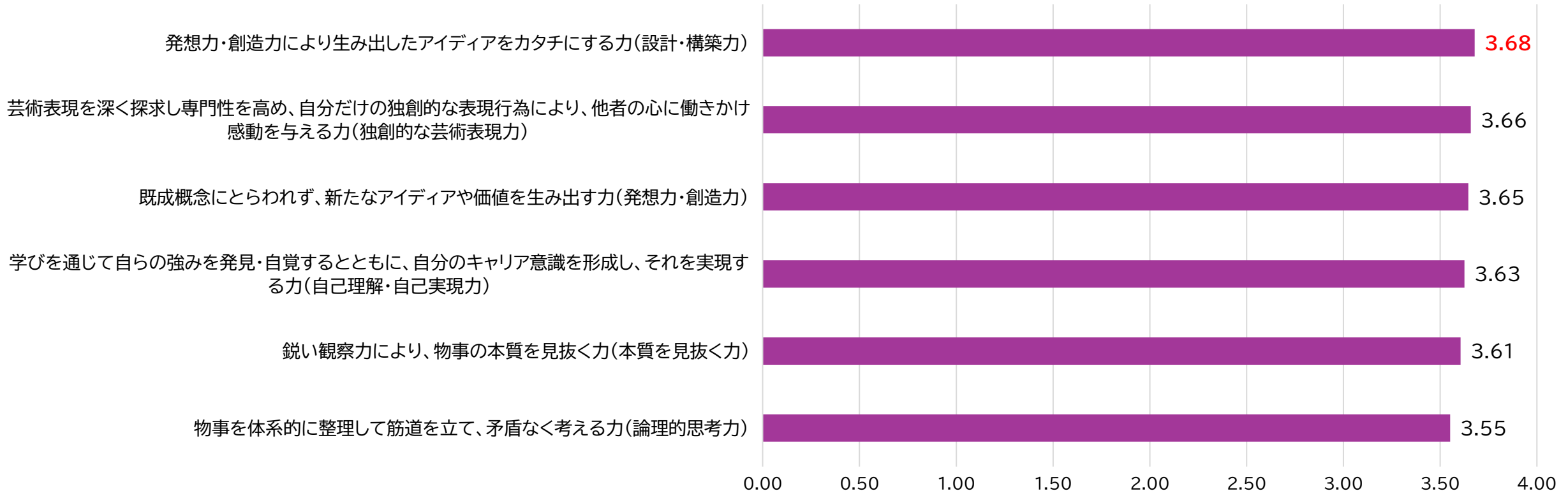
回答状況を1点から4点までに点数化し、
回答数で除して、平均値を算出した。

1点:まったく必要ではない
2点:どちらかといえば必要ではない
3点:どちらかといえば必要である
4点:とても必要である

【概要】身につける必要性として、「設計・構築力」が3.68と最も平均が高く、次いで、「独創的な芸術表現力」が3.66、「発想力・創造力」が3.65となった。DP1について、どの能力も平均値が3.5以上となっていることから、各能力の身につける必要性について一定程度認識されていることが分かる。

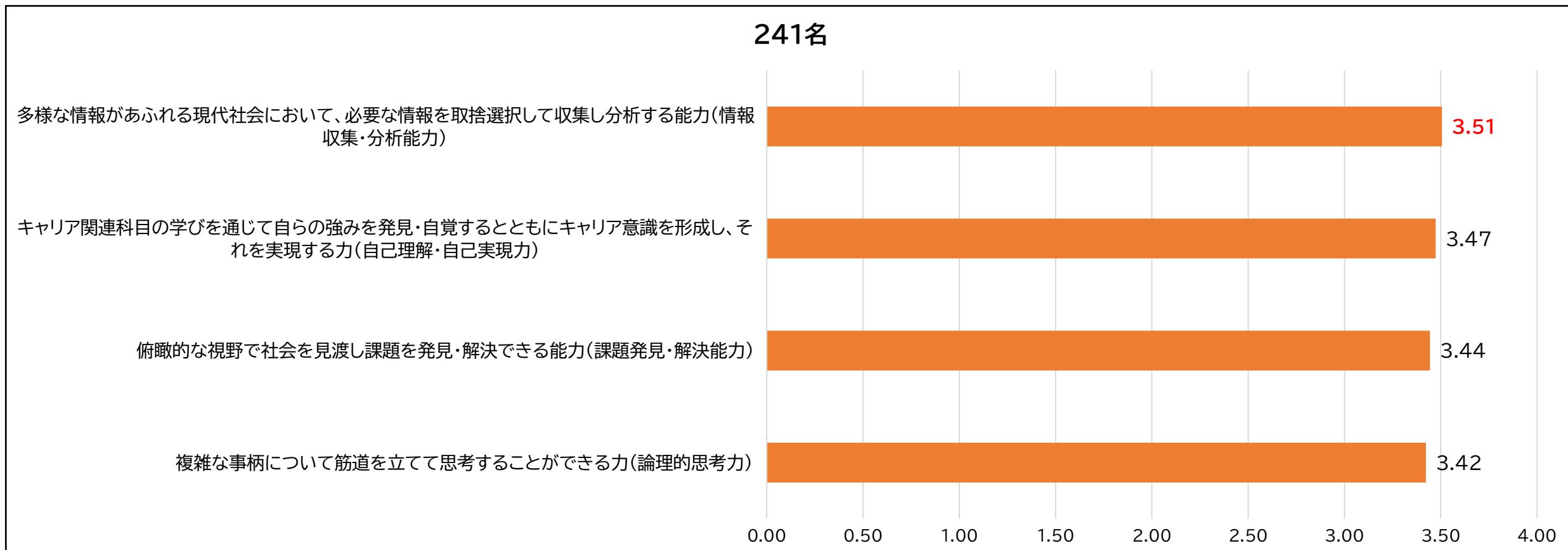
Q2. あなたが卒業するまでに以下の能力を身につける必要性について、どのように考えますか。
各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。

芸術表現学科(117名) / 音楽表現学科(104名)音楽応用学科(64名)舞台表現学科(14名) 計299名



【概要】身につける必要性として、「情報収集・分析能力」が3.51と最も平均が高く、次いで、「自己理解・自己実現力」が3.47、「課題発見・解決能力」が3.44となった。DP1について、どの能力も平均値が3.5前後となっていることから、各能力の身につける必要性について一定程度認識されていることが分かる。

Q2. あなたが卒業するまでに以下の能力を身につける必要性について、どのように考えますか。
各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。



< [DP1]身につける必要性について >

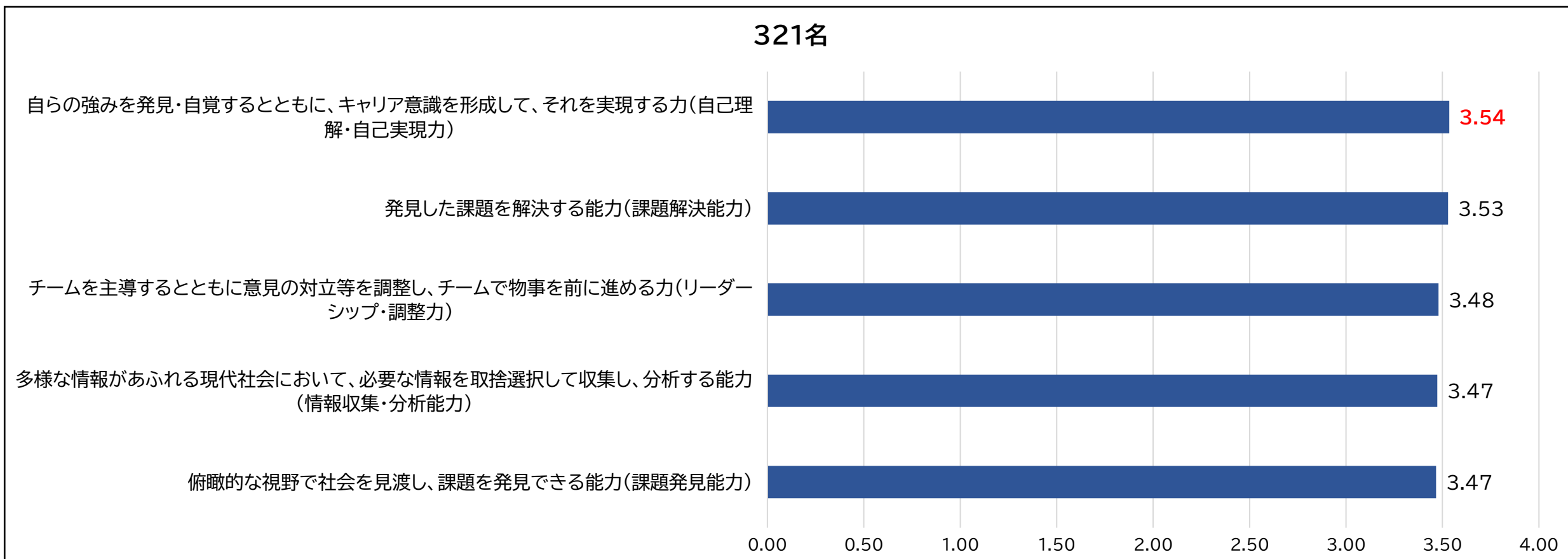
〈各項目の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、
回答数で除して、平均値を算出した。

1点:まったく必要ではない
2点:どちらかといえば必要ではない
3点:どちらかといえば必要である
4点:とても必要である

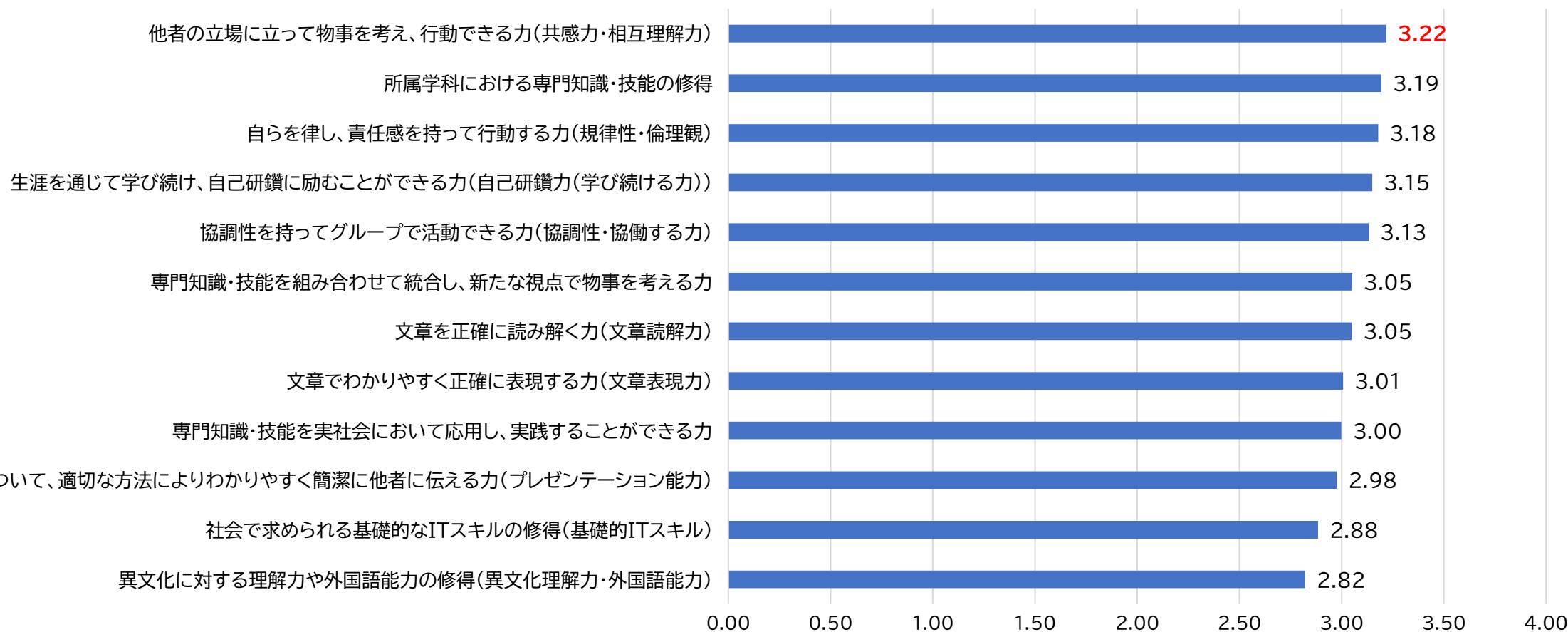
【概要】身につける必要性として、「自己理解・自己実現力」が3.54と最も平均が高く、次いで、「課題解決能力」が3.53、「リーダーシップ・調整力」が3.48となった。DP1について、どの能力も平均値が3.5前後となっていることから、各能力の身につける必要性について一定程度認識されていることが分かる。

Q2. あなたが卒業するまでに以下の能力を身につける必要性について、どのように考えますか。
各項目について最もあてはまるものを選んでください。



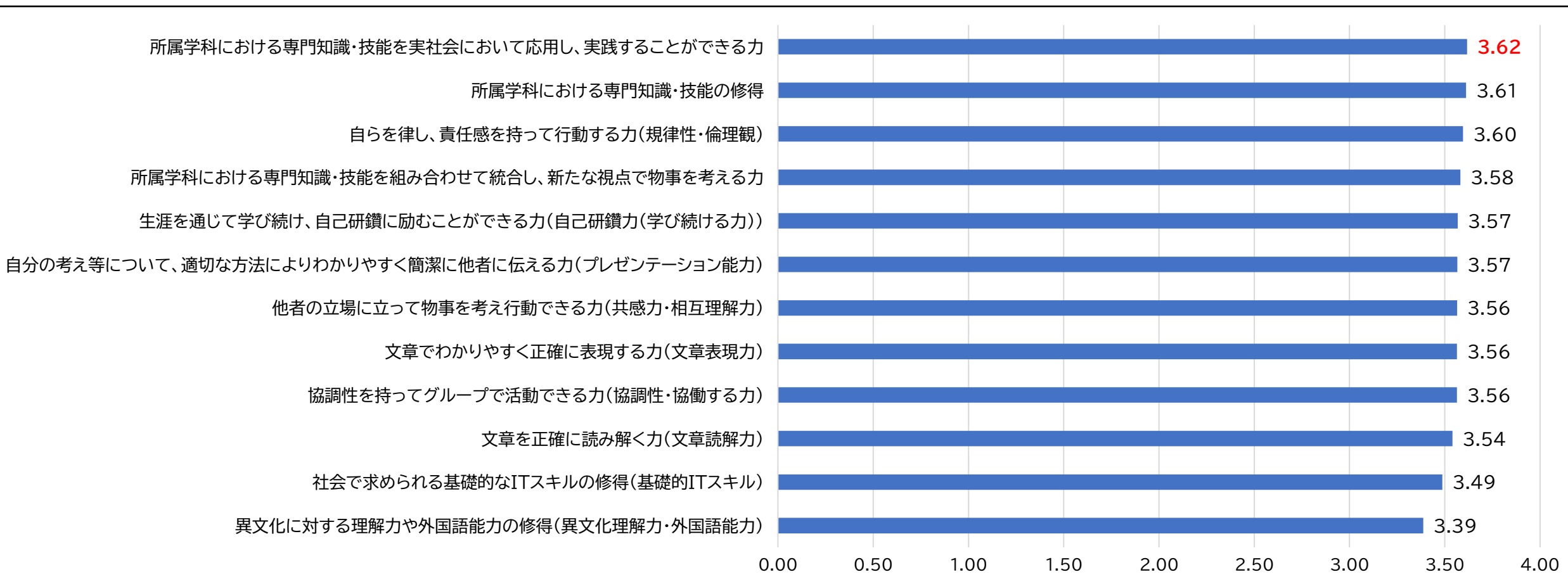
【概要】身につけることができた能力として、「共感力・相互理解力」が3.22と最も平均が高く、次いで「所属学科における専門知識・技能の修得」が3.19、「規律性・倫理観」が3.18となった。

Q3. 現時点で、履修した授業科目や課外活動を通じて、以下の能力をどの程度身につけることができましたか。
各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。



【概要】身につける必要性として、「所属学科における専門知識・技能を実社会において応用し、実践することができる力」が3.62と最も平均が高く、次いで「所属学科における専門知識・技能の修得」が3.61となった。なお、就職先企業や卒業後アンケートでの同旨の設問では「プレゼンテーション能力」や「共感力・相互理解力」、「協調性・協働する力」が特に求められており、在学生の認識と乖離が生じている。

Q4. あなたが卒業するまでに以下の能力を身につける必要性について、どのように考えますか。
各項目についてもっともあてはまるものを選んでください。



<学修状況について>

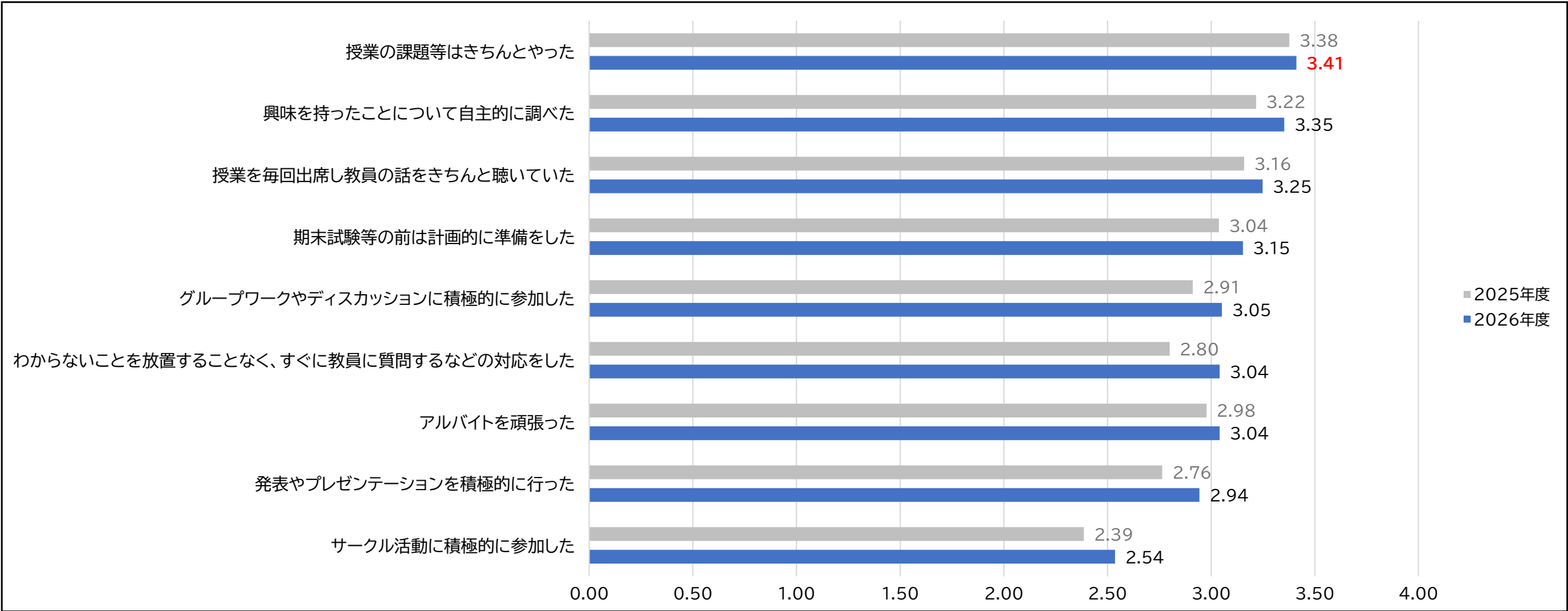
〈各項目の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、
回答数で除して、平均値を算出した。

- 1点:まったくあてはまらない
- 2点:どちらかといえばあてはまらない
- 3点:どちらかといえばあてはまる
- 4点:とてもよくあてはまる

【概要】学修状況について、「授業の課題等はきちんとやった」が3.41と最も平均が高く、次いで「興味を持ったことについて自主的に調べた」が3.35となった。2025年度と比較すると、すべての項目で2026年度の平均値の方が高くなった。

Q5.現在のあなたの学修状況についておうかがいします。各項目について1～4で回答してください。

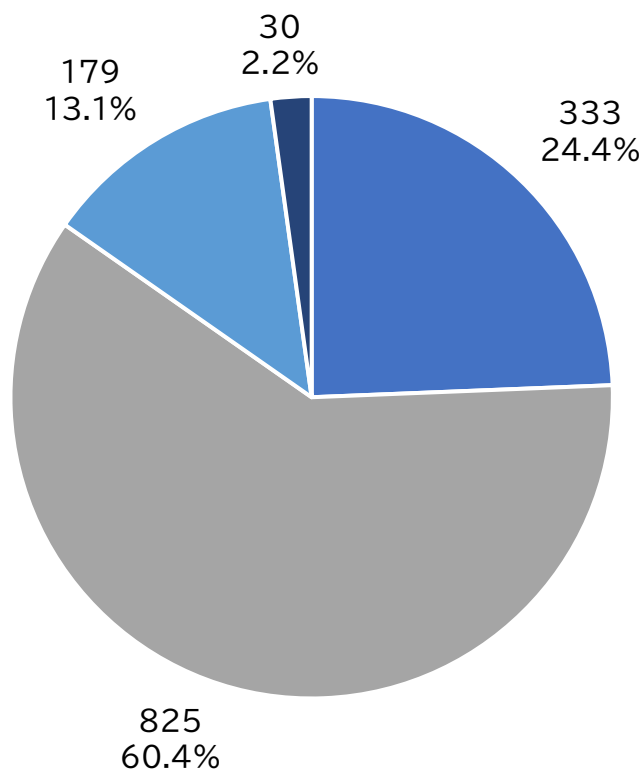


- 強く思う
- どちらかといえば思う
- どちらかといえば思わない
- まったく思わない

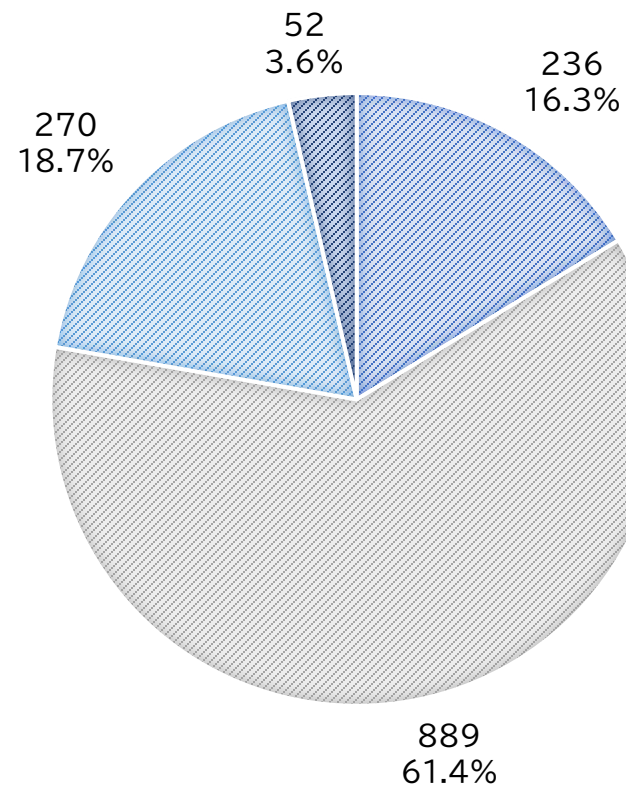
【概要】本学の推奨度として、「どちらかといえば思う」がもっとも多い回答で60.4%(825名/1367名)であった。2025年度同アンケート結果と比較すると、全体的に同様の傾向だが「強く思う」の割合が8.1ポイント増加している。

Q6-1. 現時点で、本学への入学を後輩や知人等に勧めたいと思いますか。
もっともあてはまるものを選んでください。

2026年度
1367名



2025年度
1447名

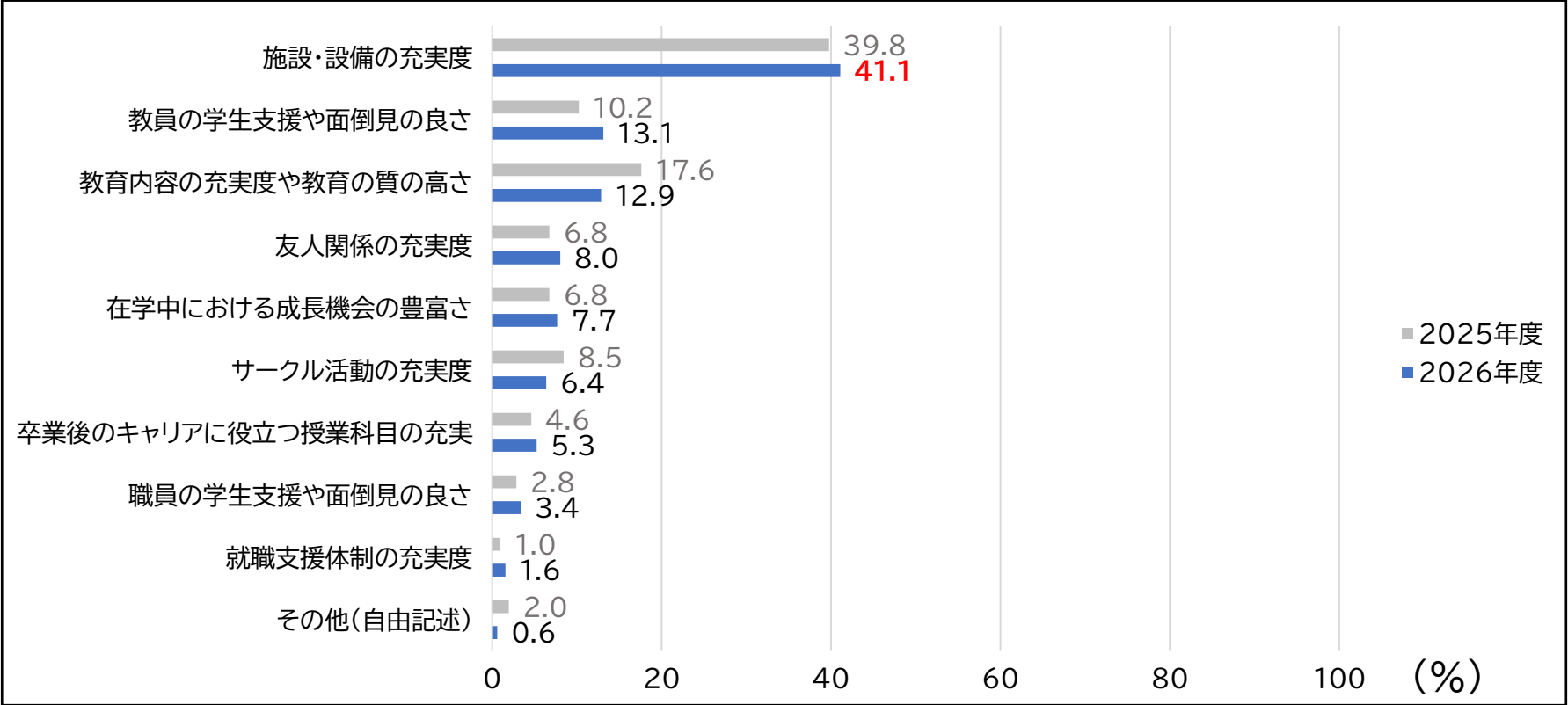


大学全体

<推奨理由について>

【概要】推奨理由として、「施設・設備の充実度」が41.1%(476名/1158名)と最も多く、次いで「教員の支援や面倒見の良さ」が13.1%(152名/1158名)であった。2025年度と比較すると順位の変化があるものの、上位の項目に大きな変化はなかった。

Q6-2.Q6-1で「強く思う」「どちらかといえば思う」と回答した方におうかがいします。
その理由としてもっとも当てはまるものを選んでください。



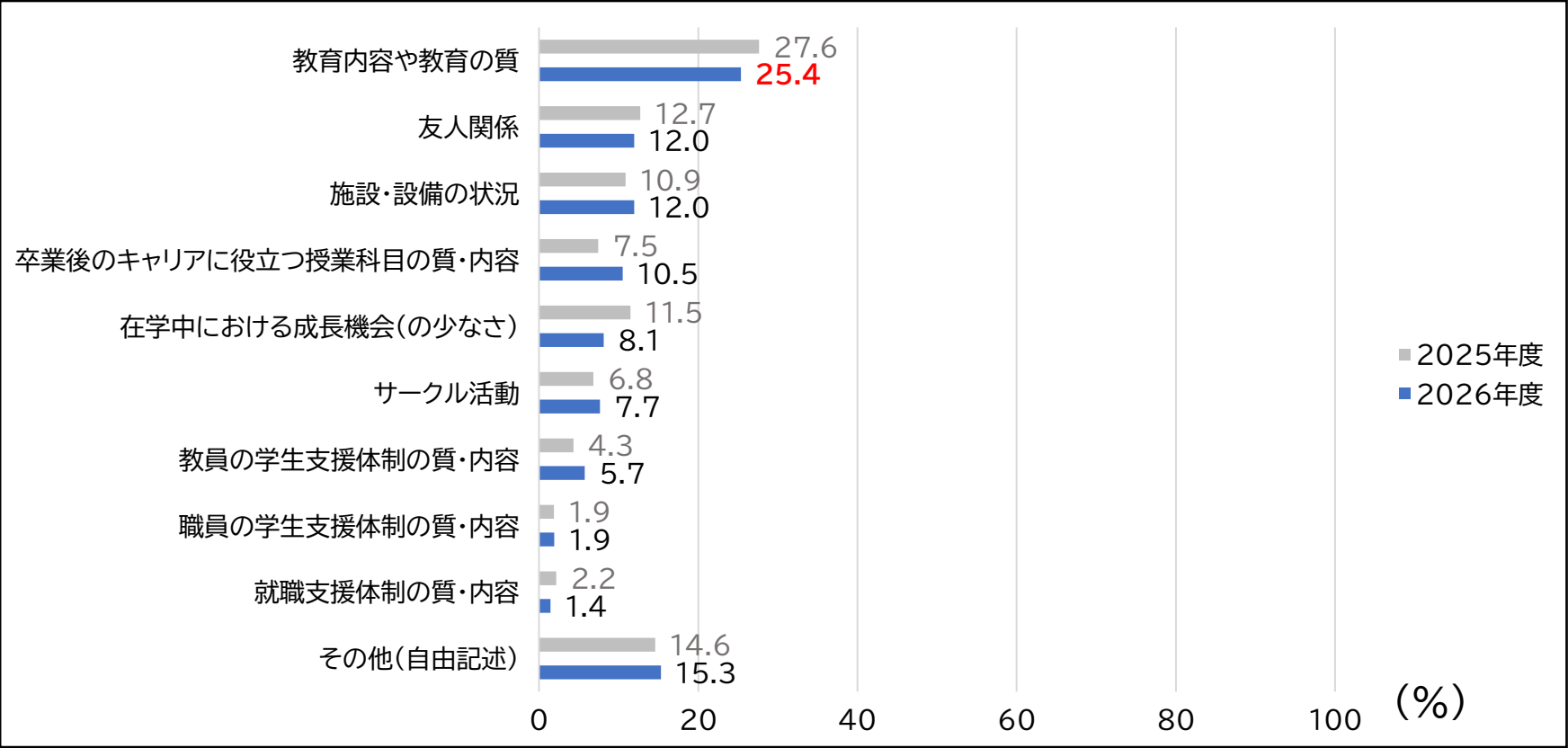
2025年度/1125名	
1	施設・設備の充実度 (39.8%/447名)
2	教育内容の充実度や教育の質の高さ (17.6%/198名)
3	教員の学生支援や面倒見の良さ (10.2%/115名)
4	サークル活動の充実度 (8.5%/95名)
5	友人関係の充実度 在学中における成長機会の豊富さ (6.8%/76名)

2026年度/1158名	
1	施設・設備の充実度 (41.1%/476名)
2	教員の学生支援や面倒見の良さ (13.1%/152名)
3	教育内容の充実度や教育の質の高さ (12.9%/149名)
4	友人関係の充実度 (8.0%/93名)
5	在学中における成長機会の豊富さ (7.7%/89名)

<非推奨理由について>

【概要】非推奨理由として、「教育内容や教育の質」が25.3%(53名/209名)と最も多く、次いで「友人関係」「施設・設備の状況」が12.0%(25名/209名)であった。2025年度と比較すると順位に変化があり、「施設・設備の状況」と「卒業後のキャリアに役立つ授業科目の質・内容」の順位が上がり、「在学中における成長機会(の少なさ)」の順位が下がっている。

Q6-3.Q6-1で「どちらかといえば思わない」「まったく思わない」と回答した方におうかがいします。
その理由としてもっとも当てはまるものを選んでください。



2025年度/322名	
1	教育内容の充実度や教育の質の高さ (27.6%/89名)
2	友人関係の充実度 (12.7%/41名)
3	在学中における成長機会の豊富さ (11.5%/37名)
4	施設・設備の充実度 (10.9%/35名)
5	卒業後のキャリアに役立つ授業科目の充実 (7.5%/24名)

2026年度/209名	
1	教育内容や教育の質 (25.4%/53名)
2	友人関係 施設・設備の状況 (12.0%/25名)
3	卒業後のキャリアに役立つ授業科目の質・内容 (10.5%/22名)
4	在学中における成長機会(の少なさ) (8.1%/17名)
5	サークル活動 (7.7%/16名)

大学全体

<満足度について>

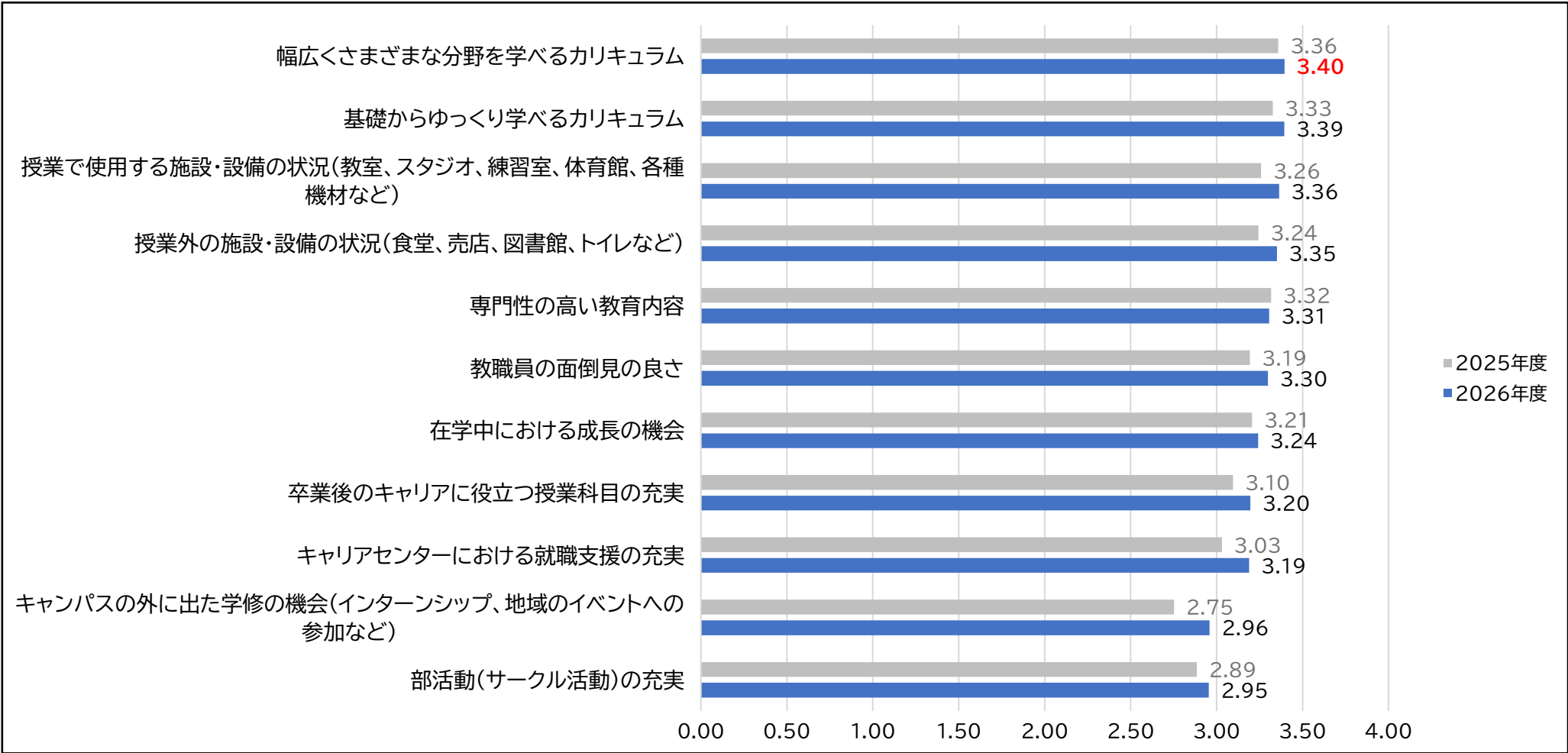
<各項目の平均値を算出>

回答状況を1点から4点までに点数化し、
回答数で除して、平均値を算出した。

1点:まったく満足していない
2点:やや満足していない
3点:やや満足している
4点:とても満足している

【概要】本学への満足度の平均として、「幅広くさまざまなことが学べる」が3.40ともっとも高く、次いで「基礎からゆっくり学べる」が3.39、「授業で使用する施設・設備の状況」が3.36となった。2025年度と比較すると、ほとんどの項目（「専門性の高い教育内容」を除く）で2026年度の平均値の方が高くなった。

Q7.本学についてのあなたの満足度を教えてください。それぞれの項目についてもっとも当てはまるものを選んでください。



2025年度	
1	幅広くさまざまな分野を学べるカリキュラム(3.36)
2	基礎からゆっくり学べるカリキュラム(3.33)
3	専門性の高い教育内容(3.32)
4	授業で使用する施設・設備の状況(3.26)
5	授業外の施設・設備の状況(3.24)

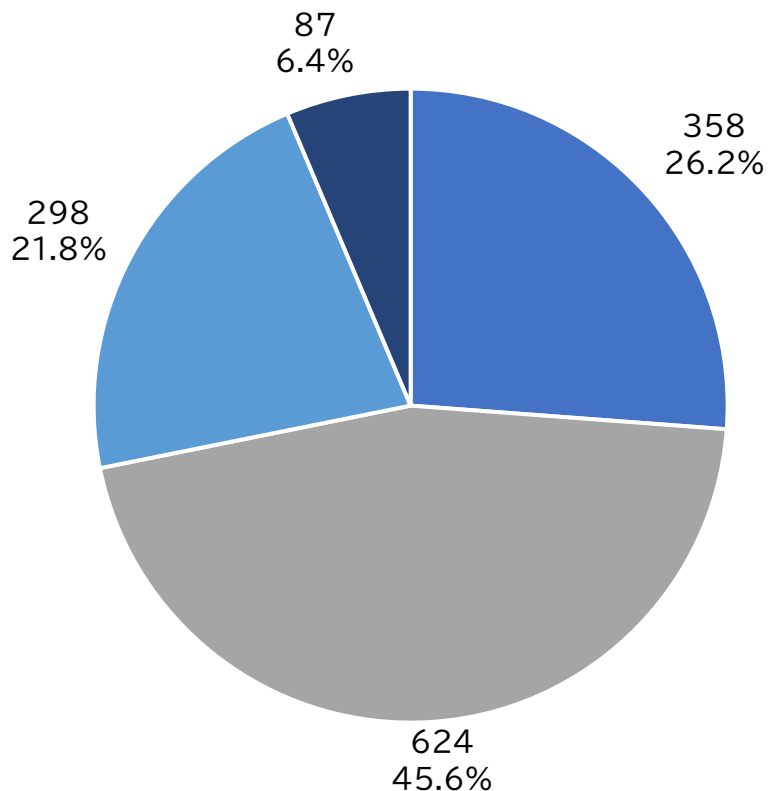
2026年度	
1	幅広くさまざまな分野を学べるカリキュラム(3.40)
2	基礎からゆっくり学べるカリキュラム(3.39)
3	授業で使用する施設・設備の状況(3.36)
4	授業外の施設・設備の状況(3.35)
5	専門性の高い教育内容(3.31)

- 明確な目的意識を持っている
- どちらかというとも明確な目的意識を持っている
- どちらかというとも明確な目的意識を持っていない
- 明確な目的意識は持っていない

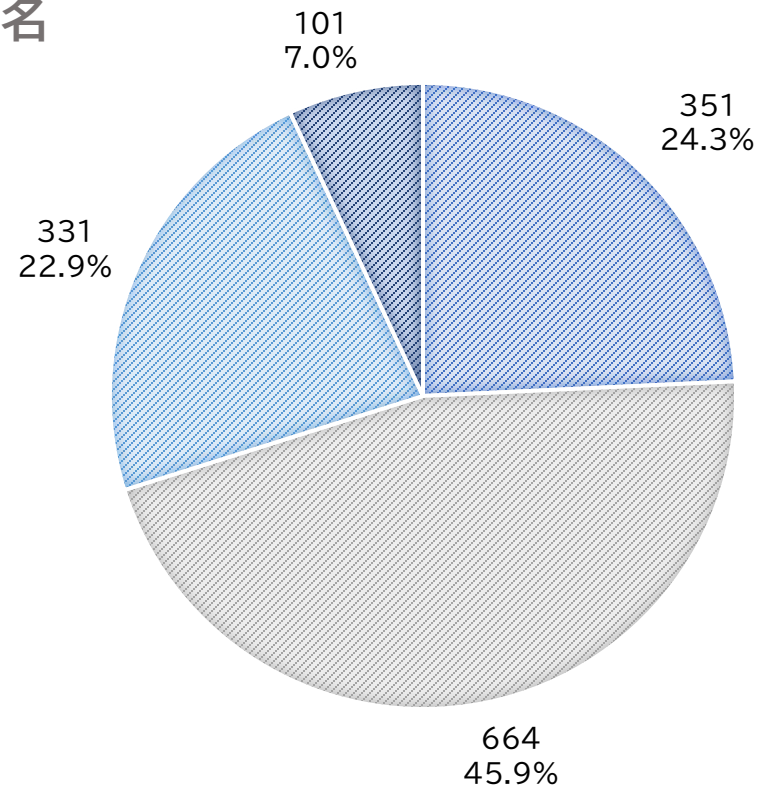
【概要】キャリア意識の回答として、「どちらかというとも明確な目的意識を持っている」がもっとも多い回答で45.6%(624名/1367名)であった。2025年度同アンケート結果と比較すると、全体的に同様の傾向だが「明確な目的意識を持っている」の割合が1.9ポイント増加している。

Q8-1.現時点で、卒業後の進路についてどの程度考えていますか。

2026年度
1367名

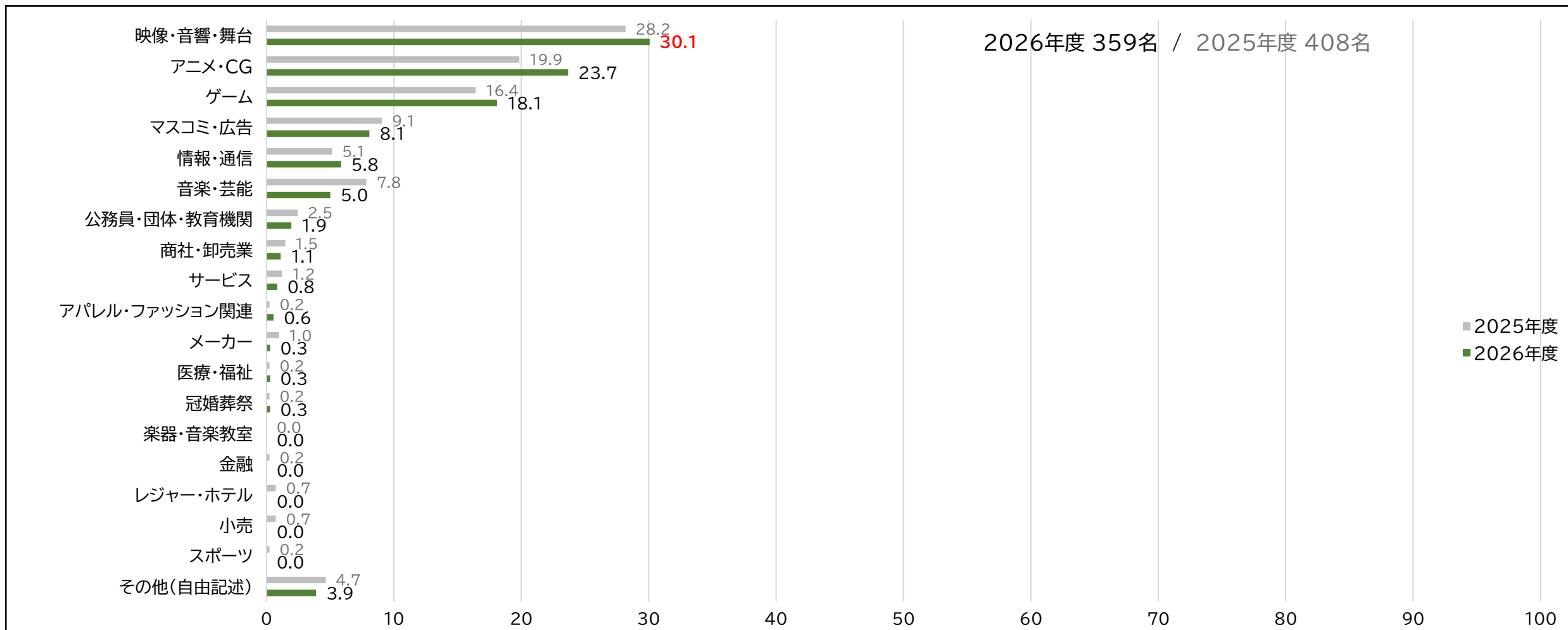


2025年度
1447名



【概要】卒業後に就きたい職種として、「映像・音響・舞台」が30.1%(108名/359名)と最も多く、次いで「アニメ・CG」が23.7%(85名/359名)であった。2025年度と比較すると同様の結果となった。

Q8-2.Q8-1で「1 明確な目的意識を持っている」「2 どちらかという明確な目的意識を持っている」と回答した方にお尋ねします。
現時点で希望している卒業後に就きたい職種を選んでください。

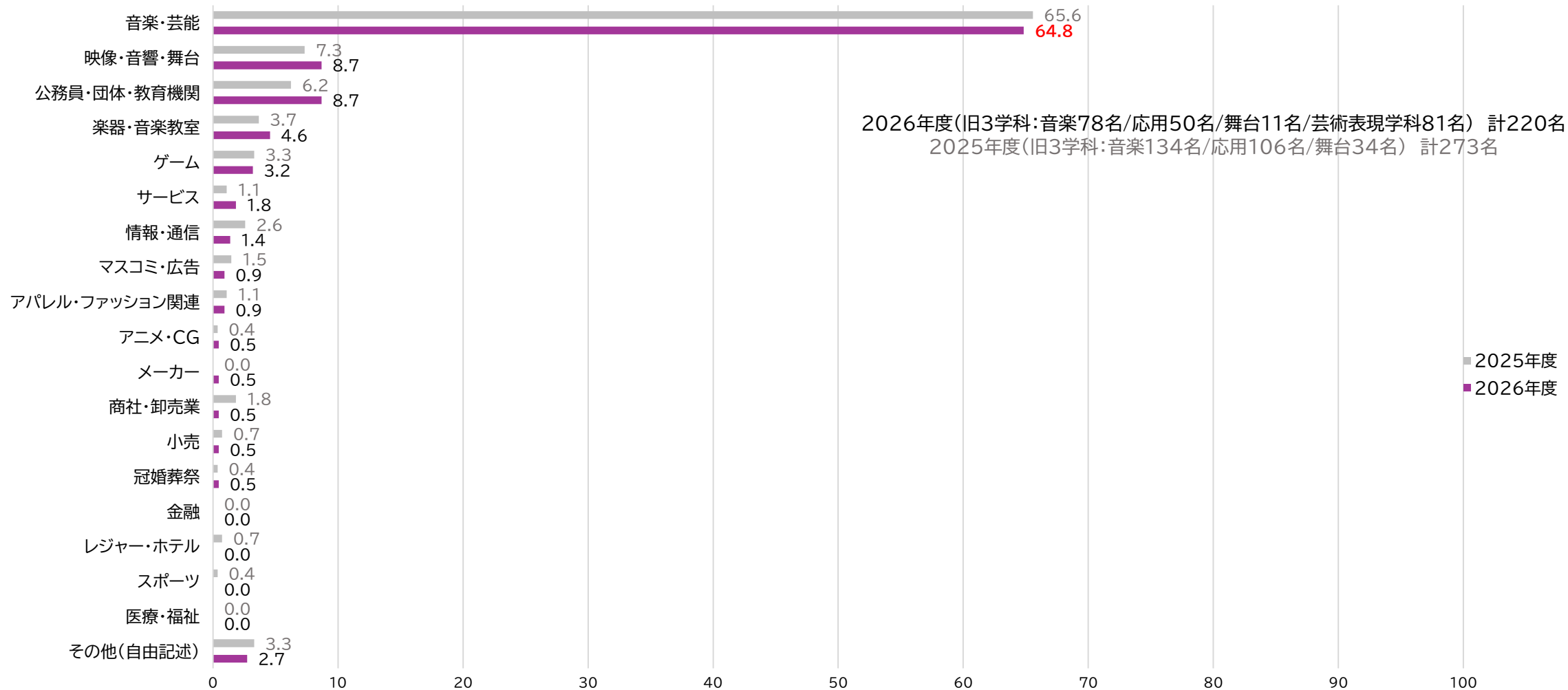


芸術表現学科・旧3学科

<キャリア・就職に関する意識について>

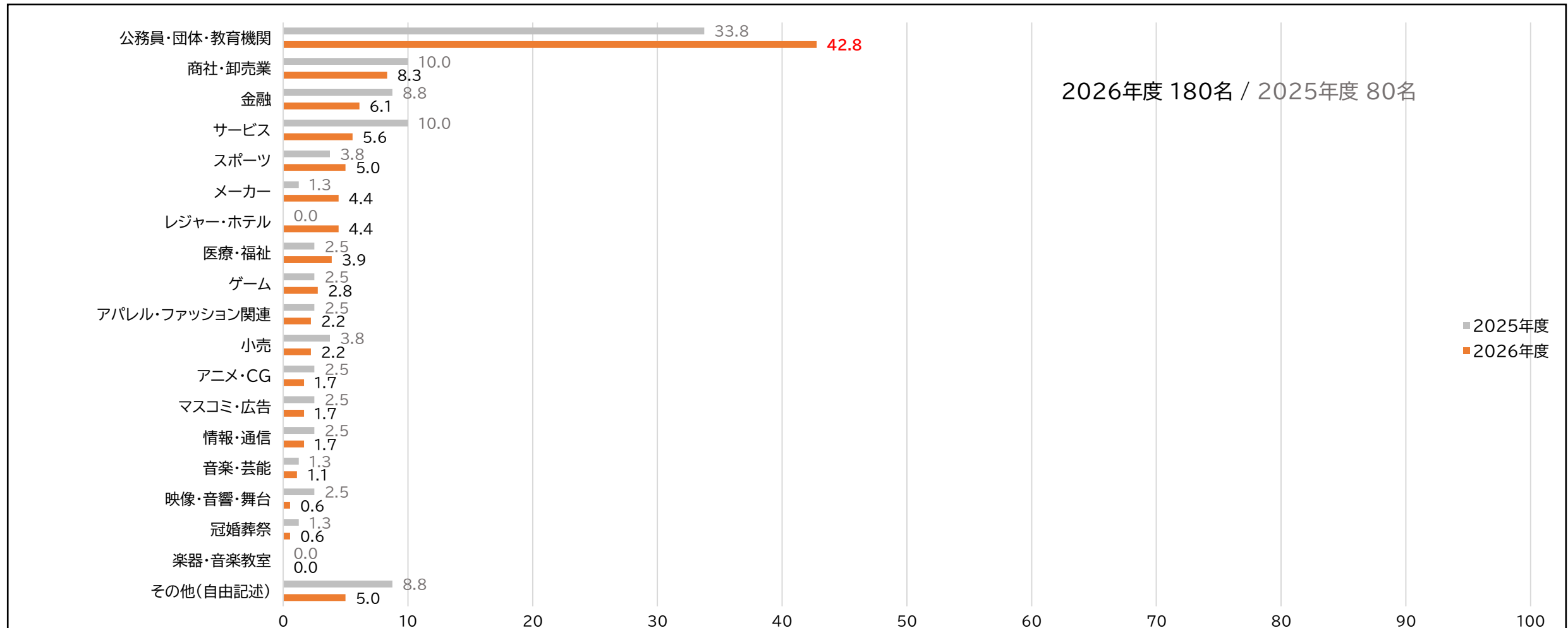
【概要】卒業後に就きたい職種として、「音楽・芸能」が64.8%（142名/220名）ともっとも多く、次いで「映像・音響・舞台」「公務員・団体・教育機関」が8.7%（19名/220名）であった。2025年度と比較しても同様の結果となった。

Q8-2.Q8-1で「1 明確な目的意識を持っている」「2 どちらかという明確な目的意識を持っている」と回答した方にお尋ねします。
現時点で希望している卒業後に就きたい職種を選んでください。



【概要】卒業後に就きたい職種として、「公務員・団体・教育機関」が42.8%（77名/180名）と最も多く、次いで「商社・卸売業」が8.3%（15名/180名）であった。2025年度と比較しても同様の結果となった。

Q8-2.Q8-1で「1 明確な目的意識を持っている」「2 どちらかというとも明確な目的意識を持っている」と回答した方にお尋ねします。
現時点で希望している卒業後に就きたい職種を選んでください。



【概要】卒業後に就きたい職種として、「スポーツ」が54.7%(122名/223名)と最も多く、次いで「公務員・団体・教育機関」が23.3%(52名/223名)であった。2025年度と比較しても同様の結果となった。

Q8-2.Q8-1で「1 明確な目的意識を持っている」「2 どちらかというと明確な目的意識を持っている」と回答した方にお尋ねします。
現時点で希望している卒業後に就きたい職種を選んでください。

